

EPSON



ESPER-SCANNER

ES-8000

● ● ● 取扱説明書



*Scan for Designers*

本書は、スキヤナの近くに置いてご活用ください

# 取扱説明書の種類と使い方

本製品には次の取扱説明書が付属しています。

## はじめにお読みください

この取扱説明書は、開梱から取り込みまでの手順の流れを説明しています。

## ES-8000 取扱説明書（本書）

スキャナの取扱説明書です。セットアップ手順、原稿のセットのしかた、オプションの取り付け方などを説明しています。

## EPSON TWAIN Pro 取扱説明書

画像取込ソフト「EPSON TWAIN Pro」の取扱説明書です。EPSON TWAIN Proを使用して画像を取り込む手順などを説明しています。

## 付属のソフトウェアのご案内

この取扱説明書では、次の内容を説明しています。

- 付属のソフトウェアの紹介
- 付属のソフトウェアでのEPSON TWAIN Proの起動方法
- 付属のソフトウェアの使い方

## ネットワークガイド

スキャナをネットワーク環境で利用する手順を説明しています。

## 原稿ガイド取扱説明書

原稿をセットするための補助ツール「原稿ガイド」の取扱説明書です。  
必要に応じてお読みください。

# 安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくために、製品をお使いになる前には、必ず本書をお読みください。また、本書は製品の不明点をいつでも解決できるように、手元に置いてお使いください。

本書では、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作・お取り扱いについて、次の記号で警告表示を行っています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。



**警告**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



**注意**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

また、お守りいただく内容の種類を次の絵記号で区分し、説明しています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

	この記号は、してはならない行為(禁止行為)を示しています。
	この記号は、分解禁止を示しています。
	この記号は、濡れた手で製品に触れることの禁止を示しています。
	この記号は、製品が水に濡れることの禁止を示しています。
	この記号は、電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。

## 安全上のご注意

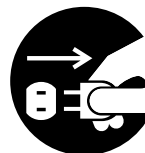
### 警告

・煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。

感電・火災の原因となります。

すぐに電源コードをコンセントから抜いて、販売店またはエプソンサービスセンターにご相談ください。

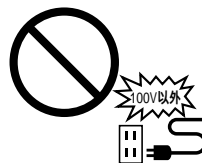
お客様による修理は危険ですから絶対しないでください。



・(取扱説明書で指示されている以外の)分解や改造はしないでください。けがや感電・火災の原因となります。



・表示されている電源(AC100ボルト)以外は使用しないでください。指定外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。

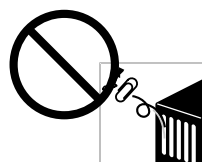


・ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。



・通風孔など開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。

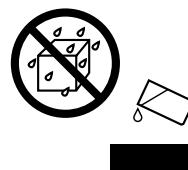
感電・火災の原因となります。



・異物や水などの液体が内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。

感電・火災の原因となります。

すぐに電源コードをコンセントから抜き、販売店またはエプソンサービスセンターにご相談ください。



・電源プラグの取り扱いには注意してください。

取り扱いを誤ると火災の原因となります。電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。

- ・電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない
- ・電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む



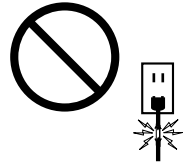
## ⚠警告

・破損した電源コードを使用しないでください。感電・火災の原因となります。

電源コードを取り扱う際は、次の点を守ってください。

- ・電源コードを加工しない
- ・電源コードの上に重いものを乗せない
- ・無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
- ・熱器具の近くに配線しない

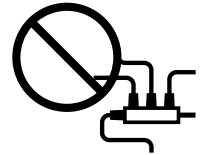
電源コードが破損したら、販売店またはエプソンサービスセンターにご相談ください。



・電源コードのたこ足配線はしないでください。

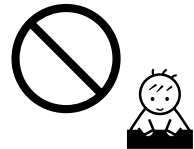
発熱し火災の原因となります。

家庭用電源コンセント(AC100ボルト)から電源を直接取ってください。



## ⚠注意

・小さなお子さまの手の届く所には、設置、保管しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをするおそれがあります。



・不安定な場所(ぐらついた台の上や傾いた所など)に置かないでください。

落ちたり、倒れたりして、けがをするおそれがあります。



・湿気やほこりの多い場所に置かないでください。

感電・火災のおそれがあります。



・本製品の上に載ったり、重いものを置かないでください。特に、小さなお子さまのいる家庭ではご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがをするおそれがあります。

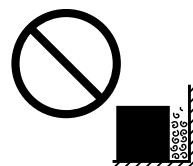


## ⚠注意

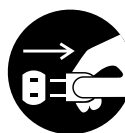
・本製品の通風孔をふさがないでください。  
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災のおそれがあります。  
次のような場所には設置しないでください。

- ・押し入れや本箱など風通しの悪い狭いところ
- ・じゅうたんや布団の上
- ・毛布やテーブルクロスのような布をかけない

また、壁際に設置する場合は、壁から10cm以上のすき間をあけてください。



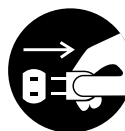
・連休や旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



・各種コード(ケーブル)は、取扱説明書で指示されている以外の配線をしないでください。  
配線を誤ると、火災のおそれがあります。



・本製品を移動する場合は、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。



・他の機械の振動が伝わる所など、振動しがちな場所には置かないでください。  
落ちたり、倒れたりして、けがをするおそれがあります。



・オプション類を装着するときは、裏表や前後をまちがえないでください。  
まちがえて装着すると、故障の原因となります。取扱説明書の指示に従って、正しく装着してください。



・本製品は重いので、開梱や移動する場合一人で運ばないでください。  
必ず2人以上で運んでください。



# 本書のご案内

詳しい目次は次ページにあります。

スキャナの設置について  
説明しています

## 設置のしかた

コンピュータとの接続の  
しかたを説明しています

## コンピュータとの接続

原稿のセット方法などを  
説明しています

## スキャナの基本的な使い方

オプションの取り付け方  
などを説明しています

## オプションの紹介

困ったときの対処方法  
を説明しています

## 困ったときは

91 ページに用語の解説があります。  
不明な用語がありましたらご活用ください。

# もくじ

取扱説明書の種類と使い方 .....	巻頭
安全にお使いいただくために .....	(1)
本書のご案内 .....	(5)
ES-8000の特長 .....	(8)
各部の名称とはたらき .....	(10)
前面 .....	(10)
背面 .....	(11)
本書中のマークと表記について .....	(12)

## 設置のしかた

設置する前に .....	2
設置に必要なスペース .....	2
設置上のご注意 .....	3
輸送用固定ノブの取り扱い .....	4
スキャナを使用するとき .....	4
スキャナを移動するとき .....	4
電源の接続と動作の確認 .....	5

## コンピュータとの接続

Windows PCとのSCSI接続 .....	8
SCSIボードの取り付けと SCSIドライバのインストール .....	8
スキャナ接続前の確認 .....	10
SCSI IDとターミネータの設定 .....	12
SCSIケーブルの接続 .....	14
Windows95環境でお使いの方へ .....	15
SCSIの基礎知識 .....	18

Macintoshとの接続 .....	19
Power Macintosh G3 (Blue and White)をお使いの方へ .....	20
SCSIの基礎知識 .....	21
SCSI IDとターミネータの設定 .....	22
SCSIケーブルの接続 .....	24
Windows PCとのパラレル接続 .....	25
双方向パラレルボードの取り付け .....	25
ケーブルの接続 .....	26

## スキャナの基本的な 使い方

原稿のセット .....	28
このあとは・・・ .....	30
使用できる原稿 .....	31
使用できるサイズ .....	31
原稿台よりも大きい原稿のセット .....	32
原稿の条件について .....	33

## オプションの紹介

オプションの紹介 .....	36
スキャナ用オプション .....	36
EPSON製プリンタ接続用オプション ..	37
コンピュータ接続用オプション .....	39
透過原稿ユニットの取り付け .....	40
輸送用固定ネジの取りはずし .....	40
スキャナへの取り付け .....	41

透過原稿のセット .....	43
反射原稿の取り込み .....	55
オートドキュメントフィーダ (ADF)の取りつけ .....	56
スキャナへの取りつけ .....	56
原稿のセット .....	62
原稿が詰まったときは .....	64
ADFの取りはずし .....	66

## 困ったときは

故障かな？と思ったら .....	70
スキャナのエラー表示 .....	72
スキャナの電源をオンに したときのトラブル .....	73
電源がオンにならない .....	73
電源オンでエラーが出る .....	73
オプション関係のトラブル .....	74
透過原稿ユニットを取りつけ、 電源オンで「ガガガ」音 .....	74
オプションを使用して 取り込みができない .....	74
透過原稿の取り込みで画像がおかしい ..	75
透過原稿の取り込みで 色つきの縞模様が生じる .....	75
ADFから給紙した原稿に傷が付く .....	75
ADFから取り込んだ画像が 上下にズレる .....	75
Windows95/98でSCSIボードが 認識されないときは .....	78
お問い合わせいただく前に .....	79

サポートのご案内 .....	81
エプソンFAXインフォメーション .....	81
エプソンインフォメーションセンター ...	81
インターネット・ パソコン通信サービス .....	81
パソコンスクール .....	82
保守サービスのご案内 .....	82

## 付録

日常のお手入れ .....	86
移動時のご注意 .....	87
基本仕様 .....	88
用語解説 .....	91
索引 .....	94

修理依頼票 .....	巻末
-------------	----

# ES-8000 の特長

ES-8000は、大版 / 高画質の画像入力に適した、プロフェッショナル仕様のスキャナです。本機は以下の特長を備えています。

## A3に対応

反射原稿(紙などの、光を反射する原稿)は310mm×437mmまで取り込むことが可能ですので、ポスターや図面などの取り込みにご利用頂けます。

## 高解像度/高階調

光学解像度は800×800dpiです(取り込む画像の解像度は、50～6400dpiの範囲で任意に設定可能です)。また、各色12bitの階調で入出力が可能\*ですので、明るい部分や暗い部分の階調再現性能が非常に優れています。なお、アプリケーションが12bitに対応していない場合は、8bitでの出力も可能です。

\*R・G・B各色4,096階調、トータル687億色での入力が可能です

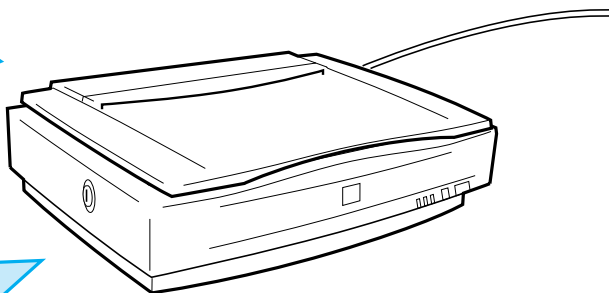
## オートフォーカス

フィルムなどで原稿がガラス面より浮いても、狙った場所にピント合わせができる、ハードウェアでのフォーカス機能を備えています(ガラス面から最大6mmまで)。スライドフィルムなどでも、最適なフォーカスが得られます。

## 原稿の連続取り込み/両面取り込みが可能

オプションのオートドキュメントフィーダ(ADF)を取り付けることにより、原稿を連続して取り込むことができます。大量の文書の取り込みやファイリングに威力を発揮します。

このADFは、両面取り込みも可能です。



## 透過原稿の取り込みが可能

オプションの透過原稿ユニットを取り付けることにより、290mm×420mmまでの透過原稿を取り込むことが可能です。ネガ/ポジフィルムをフルカラーで取り込むことができます。

## ネットワーク対応

スキャナを接続したPCをネットワークに接続し、専用のソフトウェアをインストールすれば、ネットワーク上の他のPCでスキャナを利用することができます。  
ネットワークでの利用方法については、ネットワークガイドをご覧ください。

## マルチマーキー、バッチスキャンに対応

1つのプレビュー(仮取り込み)画面上で複数の取り込み枠(マルチマーキー)を設定し、連続して取り込むこと(バッチスキャン)が可能です。例えばフィルムを一面に並べ、一回の操作でまとめて取り込むことが可能です。

## 出力機器に合わせた最適な取り込み

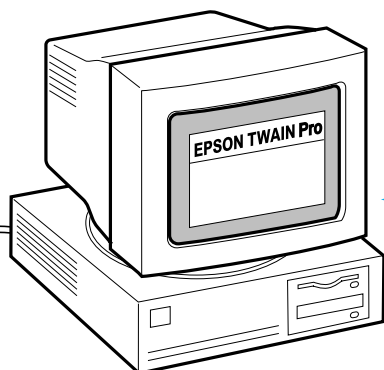
画像を最終的に出力する機器(ディスプレイやプリンタ)に応じて、画像ファイルの解像度やシャープネス設定などが最適に行われます。また、線数に応じた解像度設定を初期値として用意しました。(取り込む画像の解像度は、50~6400dpiの範囲で任意に設定可能です)

## 線画、文字原稿も高品位

TET(背景除去機能)により、文字の背景に色がついている場合でも、文字のみを抽出して取り込むことが可能です。  
また、AAS(自動領域分離機能)により、自動的に文字部分はモノクロで、画像部分は中間調処理をして取り込むことが可能です。

## 豊富な画質調整機能

強力な自動露出調整をはじめ、彩度、濃度などのさまざまな調整が可能です。  
調整はプレビューウィンドウを見ながら行います。プレビュー画質は高品位/高速の選択が可能です、高品位では取り込み後の画像により近い品質が得られます。  
また、印刷物のスキャンで発生するモアレを除去する機能を用意しました。



# 各部の名称とはたらき

スキャナの各部の名称とその機能を示します。  
スキャナのセットアップおよび操作にお役立てください。

## 前面

### キャリッジ

原稿を照射する蛍光ランプがついており、取り込み時に移動します。取り込み前のキャリッジの待機位置をホームポジションといいます。

### 原稿カバー

一枚紙の原稿のときは、閉じて外部の光を遮ります。A3よりも大きい原稿をセットするときは、取りはずすこともできます。

### 原稿台

原稿の取り込む面を下にして置きます。取り込み時の開始位置を示す原点マークと、原稿の大きさを示すスケールがついています。最大取り込み領域は、反射原稿で310mm × 437mmです。

### 輸送用固定ノブ

輸送時にキャリッジが動かないように固定するためのノブです。スキャナの使用時はUNLOCKの位置に回します。LOCKの位置ではキャリッジが固定されるので、スキャナは動作できません。

### OPERATE スイッチ

電源をオン/オフするスイッチです。

### RESET スイッチ

スキャナをリセットします。エラーが発生したときなどに使います。

### ERROR ランプ (赤)

スキャナにエラーが発生したときに、点灯または点滅します。

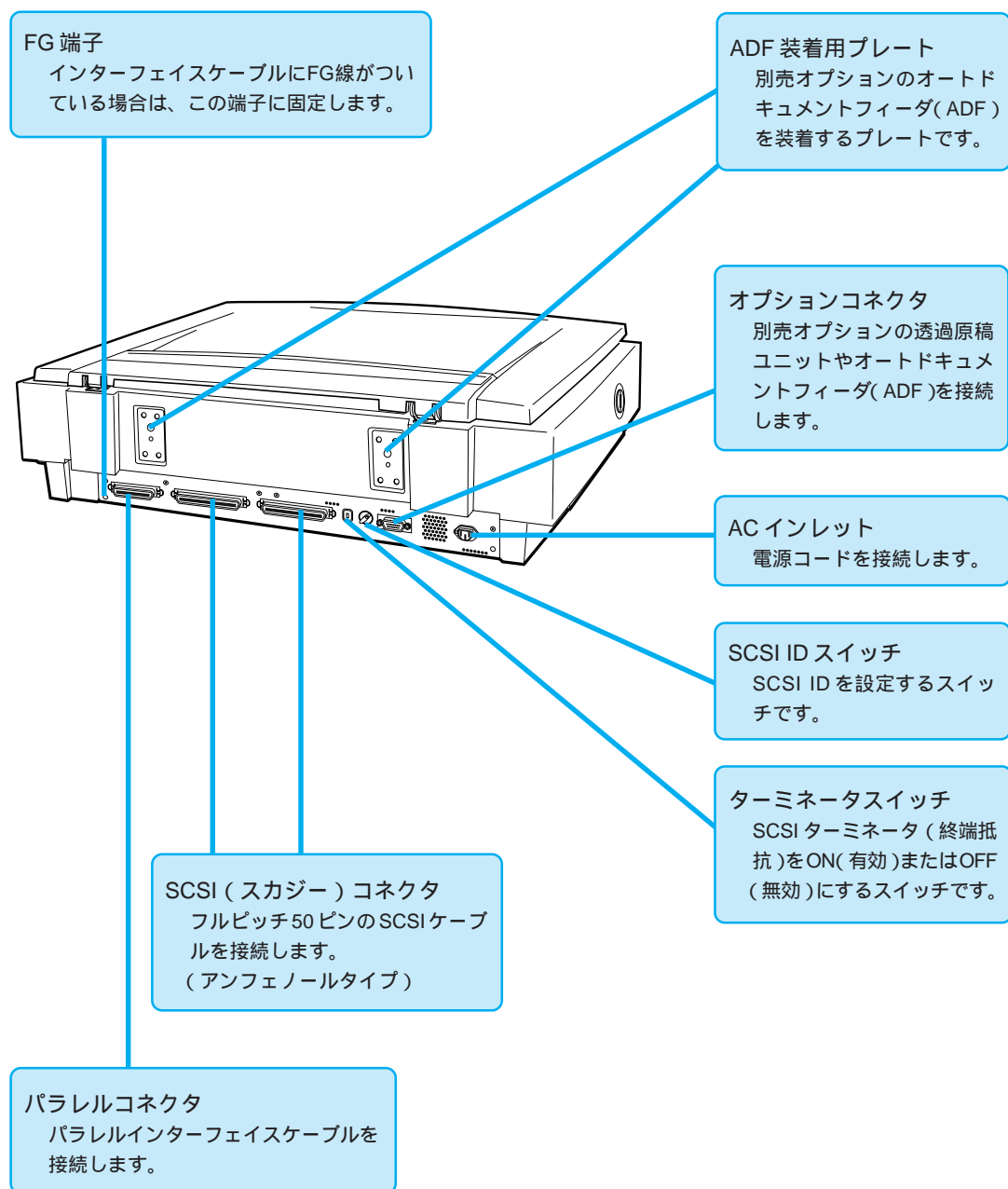
### READY ランプ (緑)

スキャナが取り込み動作可能なときに点灯します。エラーの種類によっては、このランプが点滅します。

### OPERATE ランプ (緑)

電源がオンのときに点灯します。

## 背面



# 本文中のマークと表記について

マークが付いている文章は次のように重要な内容を記載しています。  
必ずお読みください。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、スキャナ本体が損傷する可能性が想定される内容を示しています。



ポイント

お取り扱い上、必ずお守りいただきたいこと(操作)を記載しています。必ずお読みください。

## 商標等の表記

Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版  
Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版  
Microsoft® WindowsNT® operating system Version3.51 日本語版  
Microsoft® WindowsNT® operating system Version4.0 日本語版

—の表記について

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows95、Windows98、WindowsNT3.51、WindowsNT4.0 と表記しています。また、Windows95、Windows98、WindowsNT3.51、WindowsNT4.0 を総称する場合は[ Windows ] 複数のWindowsを併記する場合は[ Windows95/98/NT4.0 ] のように、Windows の表記を省略することがあります。

Adaptec、AHA、PhaseEngine、SCSI Select および EZ-SCSI は Adaptec 社の登録商標です。

PC-9801/9821シリーズおよびPC98-NXシリーズは日本電気株式会社の商標です。

IBM PC、DOS/V、IBM は International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。

Apple の名称、ロゴ、Macintosh、PowerMacintosh、PowerBook、漢字Talk、ColorSync、AppleTalk、LocalTalk、EtherTalk および TrueType は Apple Computer, Inc. の商標または登録商標です。

Microsoft、Windows および WindowsNT は 米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。

Pentium は Intel Corporation の登録商標です。

そのほかの製品名は各社の商標または登録商標です。

# 設置のしかた

---

ここでは、スキャナの設置について説明しています。

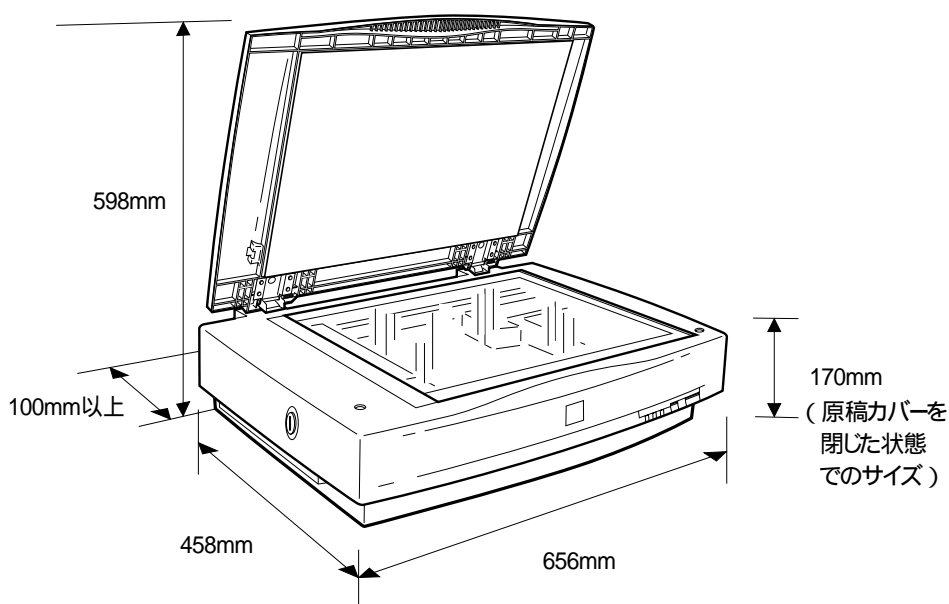
設置する前に .....	P.2
輸送用固定ノブの取り扱い .....	P.4
電源の接続と動作の確認 .....	P.5

# 設置する前に

## 設置に必要なスペース

スキャナの周囲と上側には、操作しやすいように十分なスペースを取ってください。

背面には電源コードやインターフェースケーブルのためにすきまが必要です。壁に押しつけて置くと、ケーブルの根元に無理な力がかかって断線したり、ケーブルが外れる原因になりますのでご注意ください。



## ⚠️ 注意

本機はA3対応の大型スキャナですので、必ず、水平で安定した頑丈な場所に設置してください。不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた場所など）に設置した場合、落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。

## 設置上のご注意



本機は、次のような場所に設置してください。

水平で安定した場所	風通しの良い場所	次の気温と湿度の場所

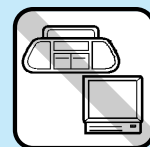


本機は精密な機械・電子部品で作られています。次のような場所に設置すると動作不良や故障の原因となりますので、絶対にさけてください。

直射日光の当たる場所 	ほこりや塵の多い場所 	温度変化の激しい場所 
湿度変化の激しい場所 	火気のある場所 	水にぬれやすい場所 
揮発性物質のある場所 	冷暖房機具に近い場所 	震動のある場所 



- ・ テレビ・ラジオに近い場所には設置しないでください。本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合しておりますが、微弱な電波は発信しております。近くのテレビ・ラジオに雑音を与えることがあります。
- ・ 静電気の発生しやすい場所でお使いになるときは、静電気防止マットなどを使用して、静電気の発生を防いでください。

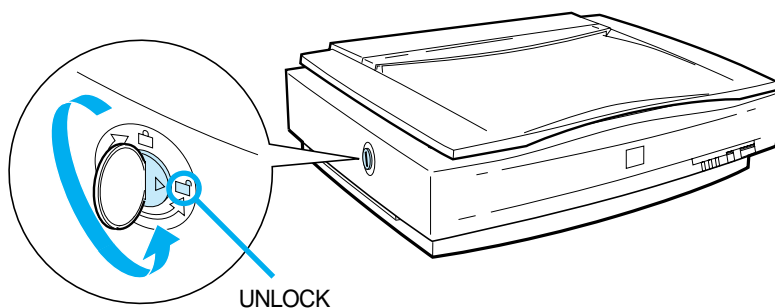


# 輸送用固定ノブの取り扱い

輸送用固定ノブは、スキャナ内部にあるキャリッジが外部からの衝撃により移動しないよう、固定・保護するためのものです。スキャナを移動するとき以外は、UNLOCKの状態でお使いください。

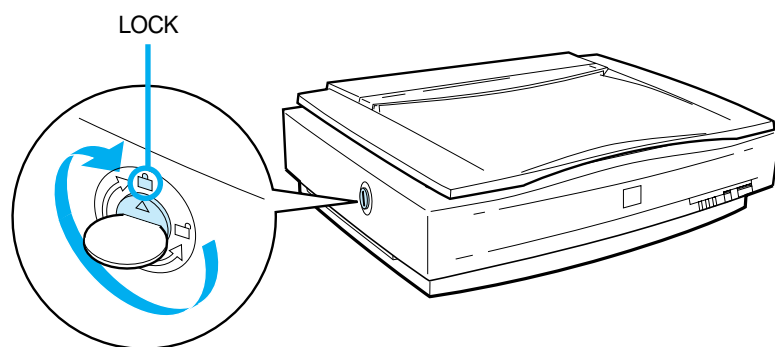
## スキャナを使用するとき

スキャナの使用時は、コインなどを使って、ノブをUNLOCKの位置に回してください。



## スキャナを移動するとき

スキャナの移動時は、コインなどを使って、ノブをLOCKの位置に回してください。  
キャリッジが固定されるため、移動中にキャリッジが動く心配がありません。  
詳しくは、87ページをご覧ください。



# 電源の接続と動作の確認

コンピュータと接続する前に、電源を接続して正常に動作するか確認します。



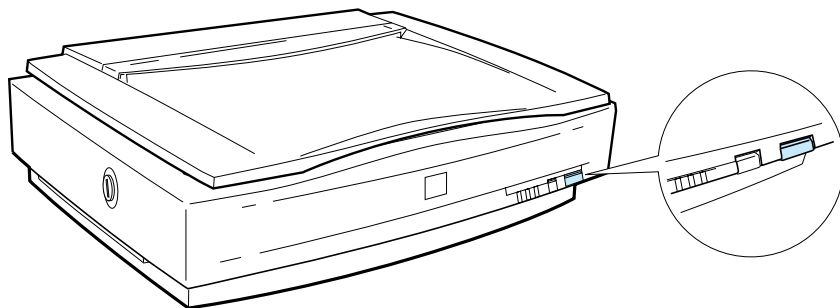
## 注意

- ・巻頭の「安全にお使いいただくために」を参照の上、正しくお取り扱いください。
- ・長い間スキャナを使用しない場合は、コンセントから電源プラグを抜いてください。

1

OPERATEスイッチがオフであることを確認します。

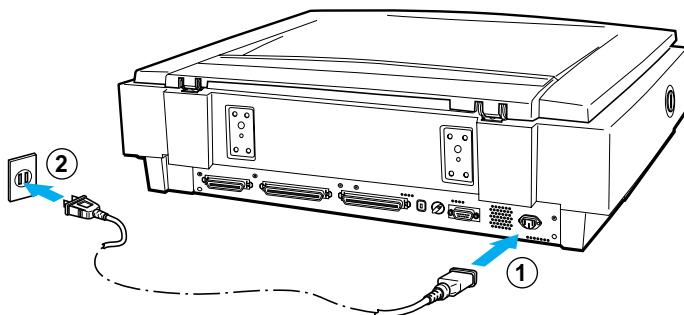
OPERATEスイッチが奥に押されている状態だと、オンになっています。もし、オンになっていたらオフにしてください。



2

コンセントの電圧がAC100Vであることを確認し、電源コードを接続します。

電源コードのコネクタ側をスキャナに差し込み、プラグをコンセントに差し込みます。



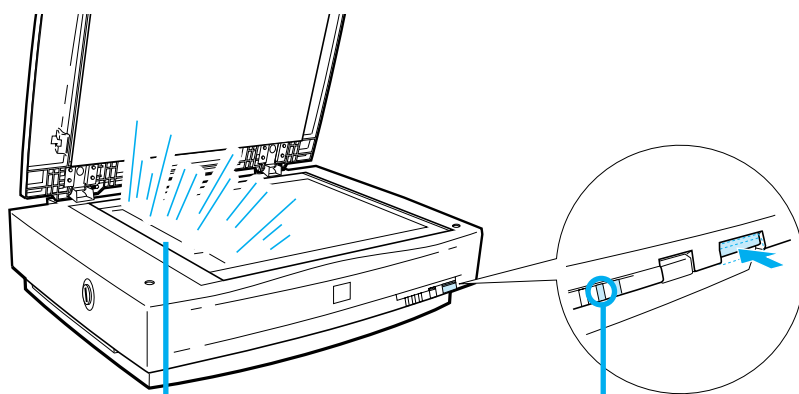
3

OPERATEスイッチを押して電源をオンにします。

次の2点を確認してください。確認できれば正常です。

電源をオンにしたあと、キャリッジが少し動いて、蛍光ランプ(白色)が試験点灯するか

そのあとでREADYランプが点灯するか



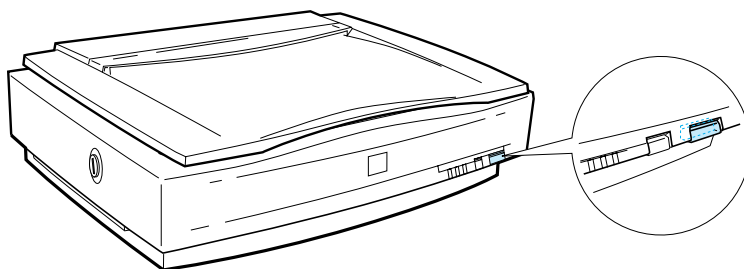
キャリッジ動作、蛍光ランプ点灯

READYランプ点灯

もし、ERRORランプが点灯または点滅した場合は、RESETスイッチを押してください。それでもエラーが発生する場合は、「スキャナのエラー表示(P.72)」をご覧ください。

4

以上で動作確認は終了です。このあとはコンピュータと接続するので、スキャナの電源をオフにしておきます。



●●● 次ページへ →

# コンピュータとの接続

ここでは、スキャナとコンピュータの接続について説明しています。

お使いの環境に応じて以下のページをご覧ください。

Windows PC との SCSI 接続 .....	P. 8
Macintosh との接続 .....	P.19
Windows PC との平行接続 .....	P.25

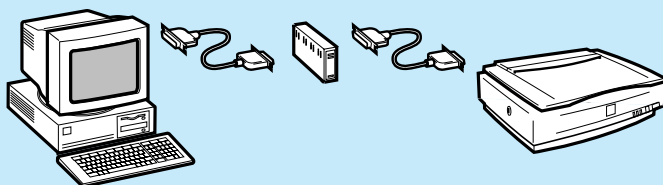
# Windows PC との SCSI 接続

ここでは、ES-8000 とコンピュータ (Windows95/98/NT) との SCSI 接続について説明します。



ポイント

SCSI (スカジー) 接続は、スキャナをはじめ、外付けハードディスク、CD-ROM ドライブなどの周辺装置を最大 7 台まで接続することを可能にします。これらの機器は SCSI 機器または SCSI デバイスと呼ばれ、デジチェーン (数珠つなぎ式) で 1 台のコンピュータに接続できます。

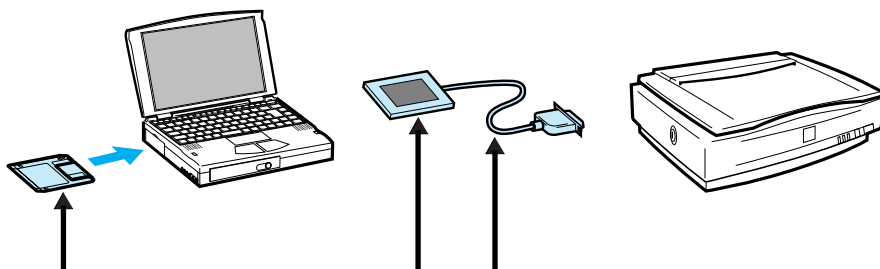


複数の SCSI 機器を接続する場合は、お使いの SCSI ボードや SCSI 機器のコネクタに合ったケーブルをお買い求めください (次ページ参照)。本機には、D-Sub25 ピン x アンフェノール 50 ピン (フル) の SCSI ケーブルが付属しています。

## SCSI ボードの取り付けと SCSI ドライバのインストール

コンピュータに、エプソン推奨の SCSI ボードを取り付け、SCSI ドライバをインストールしてください。手順については、コンピュータと SCSI ボードの取扱説明書をご覧ください。

## ノートブックコンピュータと接続する場合



EPSON 製 SCSI カード :

型番 : GTSCIFS  
接続スロット : PCMCIA スロット (TYPE II)  
同梱品 : SCSI カード、SCSI ケーブル、SCSI ドライバ

そのほかの動作確認している SCSI カードについては、エプソン FAX インフォメーションの「スキャナ・その他製品関連情報」で最新の情報をご提供しております。本書の裏表紙で FAX インフォメーションの番号をご確認の上、ご利用ください。

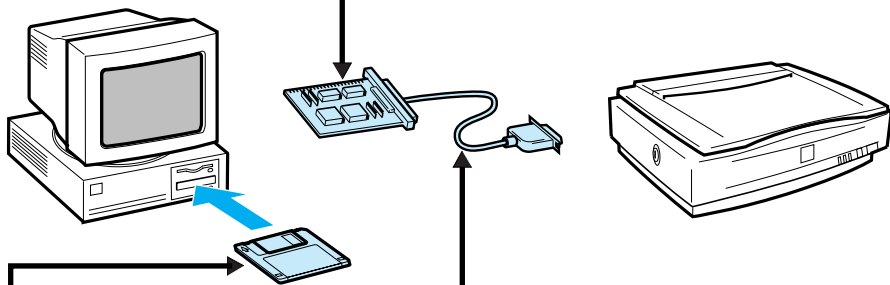
なお、動作確認外の SCSI カードでは、動作の保証は致しかねますのでご注意ください。

## デスクトップコンピュータと接続する場合

### SCSIボード：

エプソン推奨のSCSIボードをお使いください。推奨SCSIボードについては、エプソンFAXインフォメーションの「スキャナ・その他製品関連情報」で最新の情報をご提供しております。本書の裏表紙でFAXインフォメーションの番号をご確認の上、ご利用ください。

なお、推奨外のSCSIボードでは、動作の保証は致しかねますのでご注意ください。



推奨SCSIケーブル		
型番	ケーブル仕様	
EPSON製 GTATSCCB1	アンフェノール50ピン(フル) × アンフェノール50ピン(フル)	
EPSON製 GTATSCCB2	アンフェノール50ピン(フル) × 50ピン高密度ピンタイプ	

お使いのSCSIボードやSCSI機器によってコネクタ形状が異なりますので、お使いのSCSIボードやSCSI機器のコネクタに合うケーブルをお買い求めください。

### SCSIドライバ：

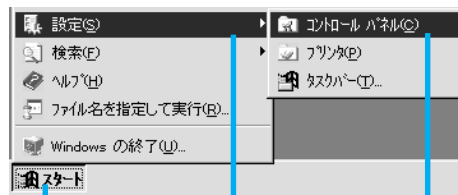
Windows95/98/NTのCD-ROMに入っているドライバか、またはSCSIボード指定のドライバをインストールしてください。

## スキャナ接続前の確認

SCSI ボードの取り付けと SCSI ドライバのインストールが終了したら、スキャナを接続する前に、SCSI ボードが正しく認識されたか確認することをおすすめします。

### Windows95/98 の場合

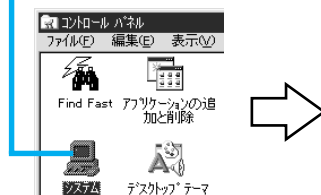
- 1 スタートボタンをクリックします。「設定」にカーソルをあわせ、「コントロールパネル」をクリックします。



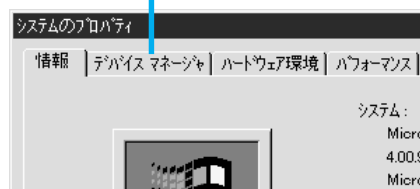
クリックし、      カーソルをあわせて      クリックします

- 2 「システム」アイコンをダブルクリックし、「デバイスマネージャ」タブをクリックします。

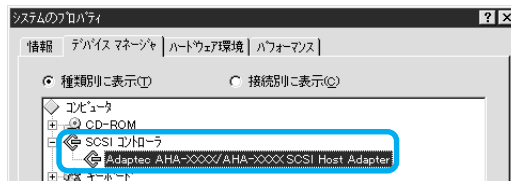
ダブルクリックして、



クリックします



- 3 SCSI コントローラの下に、お使いの SCSI ボードが認識されているか確認します。



SCSI ボードが正しく認識されていることが確認できたら、12 ページに進んでスキャナを接続してください。

SCSI ボードが認識されていない場合は、78 ページを参照して対処してください。

## WindowsNT の場合

WindowsNTでSCSI接続する場合、SCSIボードのメーカーや型番などによって、固有の問題\*があります。この内容はWindowsNTのreadmeファイルに記載されていますので、必ずお読みの上、対処してください。

readmeファイルが保存されている場所は、WindowsNTの取扱説明書に記載されています。

\* ネットワークボードと、I/Oポートアドレスなどの設定が重複することがあります。また、SCSIケーブルやターミネータの種類に制限がある場合があります

固有の問題を解決したら、WindowsNTの取扱説明書を参照し、SCSIドライバを組み込んでください。SCSIドライバが正しく組み込まれたかどうかは、次の手順で確認できます。

### WindowsNT 4.0の場合

「コントロールパネル」の「SCSIアダプタ」をダブルクリックします。「ドライバ」タブをクリックすると、組み込まれているSCSIドライバ名が表示されます。

### WindowsNT 3.51の場合

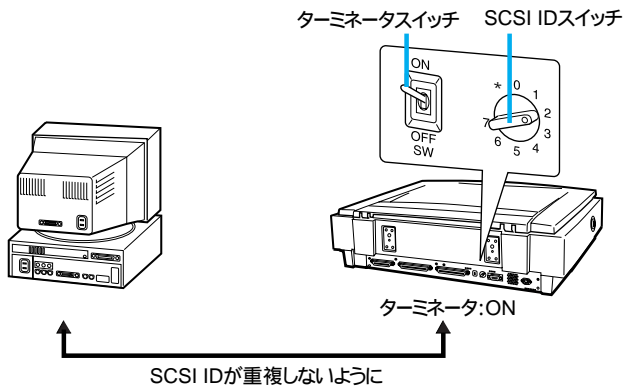
「メイン」グループの「WindowsNTセットアップ」をダブルクリックします。「設定」メニューから「SCSIアダプタの追加と削除」を選ぶと、組み込まれているSCSIドライバ名が表示されます。

固有の問題を解決し、SCSIドライバが正しく組み込まれていることが確認できたら、次ページに進んでスキャナを接続してください。

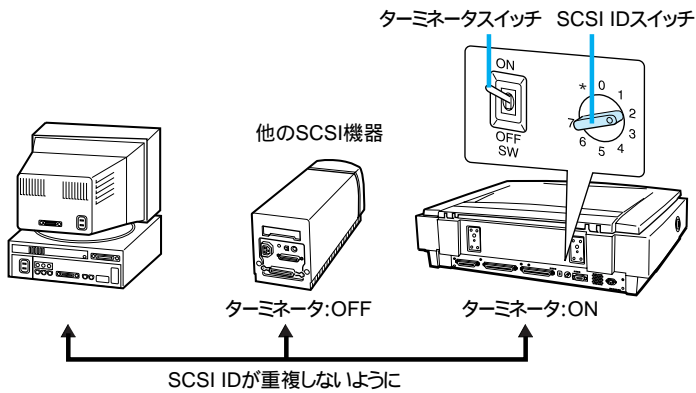
SCSIドライバが正しく組み込まれていない場合は、WindowsNTの取扱説明書を参照して対処してください。

## SCSI ID とターミネータの設定

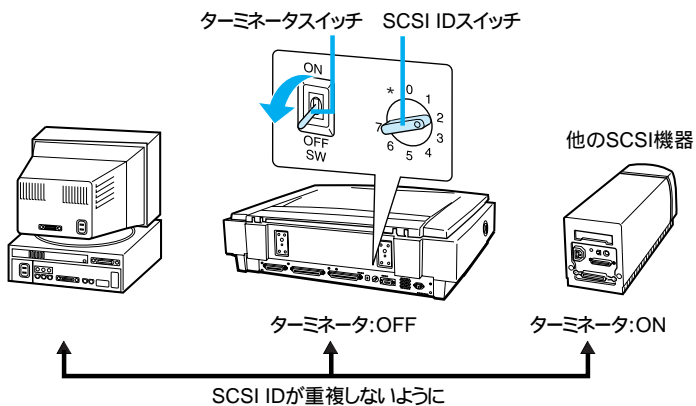
### スキャナを単独で接続する場合



### デジチェーンの終端に接続する場合

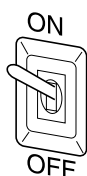


### デジチェーンの途中に接続する場合

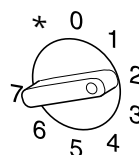


**ターミネータ :**

出荷時設定 (ON) のままでお使いください。OFF にすると正常に動作しません。

**SCSI ID :**

出荷時設定 (ID=2) のままです。設定を変える必要はありません。

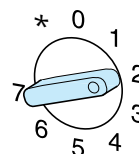
**ターミネータ :**

出荷時設定 (ON) のままでお使いください。OFF にすると正常に動作しません。

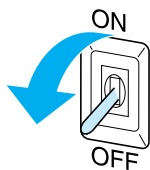
**SCSI ID :**

×印がついていない番号の中で、他の SCSI 機器が使用していない番号に設定します。重複していると正常に動作しません。

ID	可否	備考
0		通常、ハードディスクなどで使用
1		通常、ハードディスクなどで使用
2		出荷時設定
3		
4		
5		
6		
7	×	通常、SCSI ボードが使用
*	×	無効

**ターミネータ :**

OFF にしてお使いください。ON のままだと正常に動作しません。



## SCSIケーブルの接続

本スキャナには、SCSIケーブルが付属しています。SCSIボードや他のSCSI機器とコネクタ形状が一致すれば、ご利用頂けます。

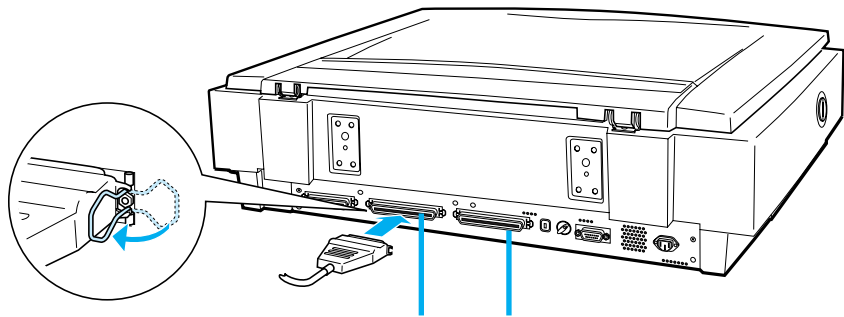


注意

接続する前に、コンピュータとスキャナの電源がオフになっていることを確認してください。電源がオンの状態でケーブルを抜き差しすると、機器自体の故障の原因になります。

1

SCSIケーブルを接続し、コネクタ両脇のクリップで固定します。



複数のSCSI機器を接続できますので、スキャナにはSCSIコネクタが2つあります。どちらのコネクタに接続してもかまいません。

2

ケーブルのもう一方を、コンピュータ（SCSIボード）や他のSCSI機器などに接続します。



ポイント

本スキャナは、パラレルインターフェイスも装備しています。SCSI、パラレル両方に接続する場合は、以下の点にご注意ください。

片方のインターフェイスの使用中は、もう一方のインターフェイスは使用できません。

パラレルインターフェイスに接続しているコンピュータの電源がオフになっている場合、スキャナのリセットスイッチが有効にならないことがあります。

このあとは、お使いの環境に応じて下記のページをご覧ください。

Windows95をお使いの場合 ..... 次ページへ

Windows98をお使いの場合 ..... 18ページへ

WindowsNTをお使いの場合 ..... 18ページへ

## Windows95 環境でお使いの方へ

Windows95 をお使いの場合、スキャナを SCSI で接続した後、はじめてコンピュータの電源をオンにすると、Windows95 のプラグ & プレイ機能によりスキャナが認識されます。このときは、次の手順にしたがってスキャナの情報ファイルをインストールしてください。

1

まずスキャナの電源をオンにします。次にコンピュータの電源をオンにし、Windows95 を起動します。

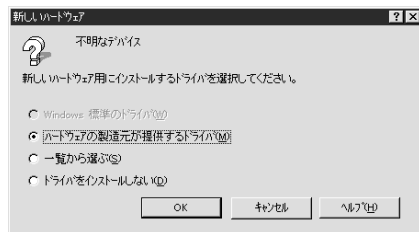
必ず、この順番を守ってください。そうしないと、スキャナが認識されません。

2

Windows95 のプラグ & プレイ機能によりスキャナが認識されます。

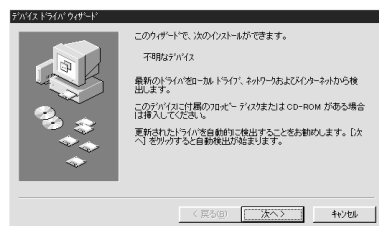
このときに表示される画面が、Windows95 のバージョンにより異なります。表示される画面に応じ、次の手順でスキャナの情報ファイルをインストールしてください。

### [ 新しいハードウェア ] の場合



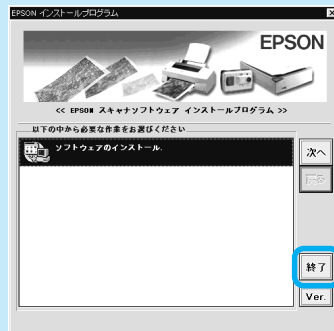
- 1 ES-8000 ソフトウェア CD-ROM をセットします。

### [ デバイスドライバウィザード ] の場合



- 1 ES-8000 ソフトウェア CD-ROM をセットし、**次へ** ボタンをクリックします。

ES-8000ソフトウェアCD-ROMをセットすると次の画面が自動的に表示されますが、ここでは **終了** ボタンをクリックしてこの画面を閉じてください。



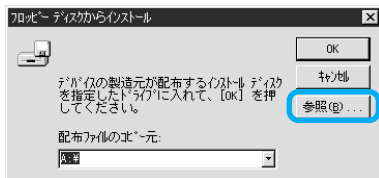
次ページにつづく

次ページにつづく

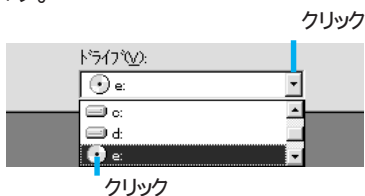
## [新しいハードウェア]のつづき

- 2 [ハードウェアの製造元が提供するドライバ]が選択されていることを確認し、**OK** ボタンをクリックします。

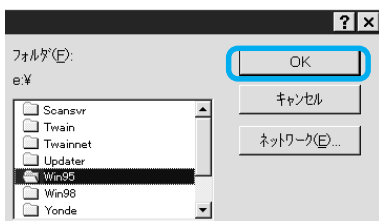
- 3 **参照** ボタンをクリックします。



- 4 矢印ボタンをクリックし、CD-ROMドライブのアイコンをクリックします。



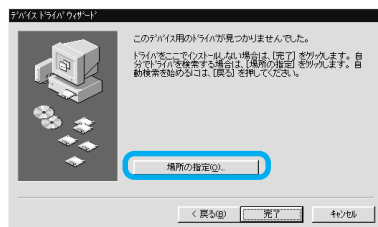
- 5 [Win95]フォルダをダブルクリックし、**OK** ボタンをクリックします。



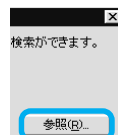
次ページにつづく

## [デバイスドライバウィザード]のつづき

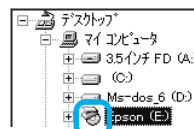
- 2 しばらくして次の画面が表示されたら、**場所の指定** ボタンをクリックします。



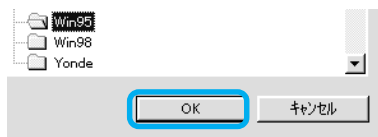
- 3 **参照** ボタンをクリックします。



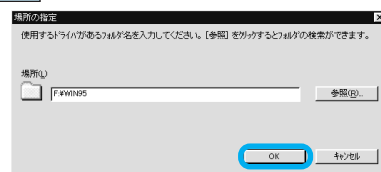
- 4 CD-ROMのアイコンをダブルクリックします。



- 5 [Win95]フォルダをクリックして、**OK** ボタンをクリックします。



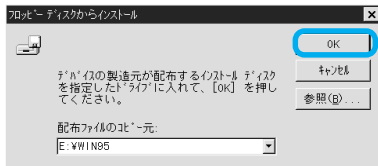
- 6 **OK** ボタンをクリックします。



次ページにつづく

## [新しいハードウェア]のつづき

- 6 次の画面が表示されたら、**OK** ボタンをクリックします。情報ファイルがインストールされます。



インストールはすぐに終了します。この処理により、スキャナの情報ファイルが Windows95 のシステムに書き込まれます。

この処理でインストールされるのは、スキャナの情報ファイルのみです。画像の取り込みに必要なソフトウェア (EPSON TWAIN Pro など) はインストールされませんので、EPSON TWAIN Pro 取扱説明書を参照してインストールしてください。

## [デバイスドライバウィザード]のつづき

- 7 次の画面が表示されたら情報ファイルのインストールは終了ですので、**完了** ボタンをクリックします。



インストールはすぐに終了します。この処理により、スキャナの情報ファイルが Windows95 のシステムに書き込まれます。

この処理でインストールされるのは、スキャナの情報ファイルのみです。画像の取り込みに必要なソフトウェア (EPSON TWAIN Pro など) はインストールされませんので、EPSON TWAIN Pro 取扱説明書を参照してインストールしてください。

## インストールによって登録される内容

EPSON スキャナの下に [EPSON SCANNER ES-8000] が表示 (認識) されます。

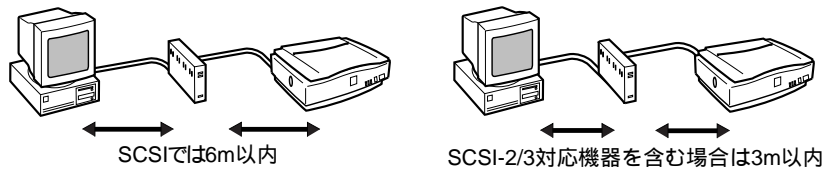
デバイスマネージャの表示方法：  
[マイコンピュータ] アイコンを右クリックします。[プロパティ] を選び、[デバイスマネージャ] タブをクリックします。



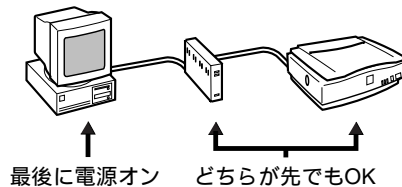
●●● 次ページへ →

## SCSIの基礎知識

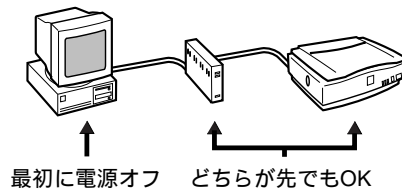
複数のSCSI機器を接続する場合は、デジチェーン全体のケーブル総延長を6メートル以内にしてください（SCSI-2/3対応の機器とデジチェーンする場合は3メートル以内）。これ以上延長すると、SCSI機器全体の動作が不安定になることがあります。



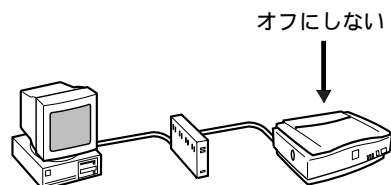
SCSI機器を接続した場合は、まずSCSI機器から電源をオンにし、最後にコンピュータの電源をオンにしてください。先にコンピュータの電源をオンにすると、SCSI機器が認識されません。また、コンピュータが正常に動作しないことがあります。



電源をオフにするときは、まずコンピュータ、次にSCSI機器の順でオフにしてください。



コンピュータの使用中は、ターミネータがON（有効）になっているSCSI機器の電源をオフにしないでください。また、コンピュータの使用中にスキャナの電源をオン/オフすると、正常に取り込みができなくなることがあります。



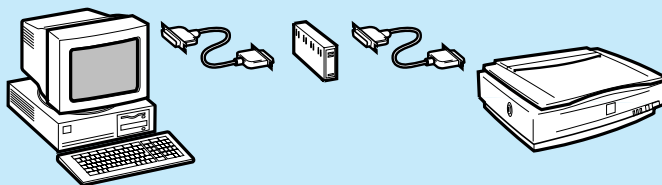
# Macintosh との接続

ここでは、ES-8000 と Macintosh との SCSI 接続について説明します。



ポイント

SCSI (スカジー) 接続は、スキャナをはじめ、外付けハードディスク、CD-ROM ドライブなどの周辺装置を最大 7 台まで接続することを可能にします。これらの機器は SCSI 機器または SCSI デバイスと呼ばれ、デジーチェーン (数珠つなぎ式) で 1 台のコンピュータに接続できます。



複数の SCSI 機器を接続する場合は、お使いの SCSI 機器のコネクタに合ったケーブルをお買い求めください。

推奨 SCSI ケーブル		
型番	ケーブル仕様	
EPSON 製 GTATSCCB1	アンフェノール50ピン(フル) × アンフェノール50ピン(フル)	
EPSON 製 GTATSCCB2	アンフェノール50ピン(フル) × 50ピン高密度ピンタイプ	 

本機には、SCSI ケーブルが付属しています。Macintosh や他の SCSI 機器などとコネクタ形状が一致すれば、ご利用頂けます。

PowerBook (ノート型 Macintosh) と接続する場合に使用するケーブルについては、PowerBook の取扱説明書をご覧ください。

## Power Macintosh G3(Blue and White)をお使いの方へ

Power Macintosh G3(Blue and White)をお使いの場合は、以下の説明に従ってください。

### SCSIボード：

エプソン推奨の SCSI ボードを別途ご購入いただき、Power Macintosh G3 (Blue and White)に装着してください。

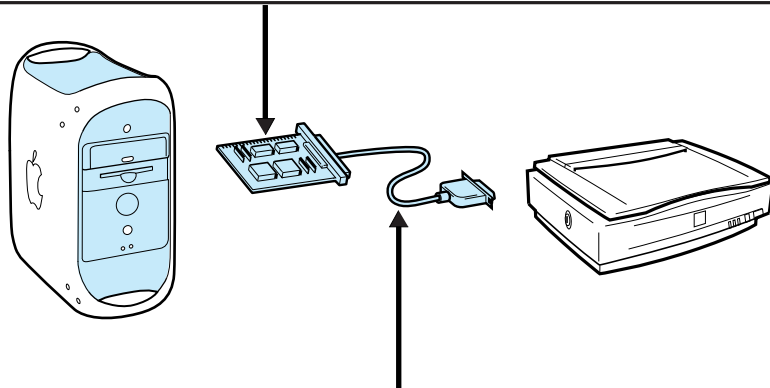
推奨 SCSI ボードについては、エプソン FAX インフォメーションの「スキャナ・その他製品関連情報」で最新の情報をご提供しております。本書の裏表紙で FAX インフォメーションの番号をご確認の上、ご利用ください。

SCSI ボードのセットアップ方法については、SCSI ボードおよび Macintosh の取扱説明書をご覧ください。

なお、推奨外の SCSI ボードでは、動作の保証は致しかねますのでご注意ください。

### SCSI I/F 標準搭載の Power Macintosh G3(Blue and White)をお使いの方へ：

Power Macintosh G3(Blue and White)に標準搭載の SCSI ボードでは、スキャナは使用できません（内蔵の SCSI ハードディスクの性能が著しく低下します）。エプソン推奨の SCSI ボードを別途ご購入いただき、Power Macintosh G3 (Blue and White)に装着してください。

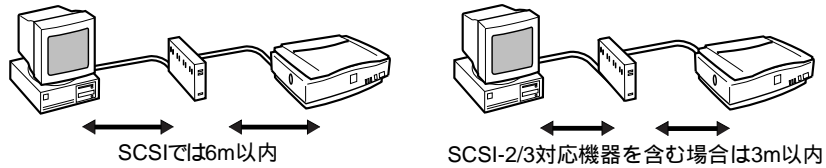


推奨SCSIケーブル			
型番	ケーブル仕様		
EPSON製 GTATSCCB2	アンフェノール50ピン(フル) × 50ピン高密度ピンタイプ		

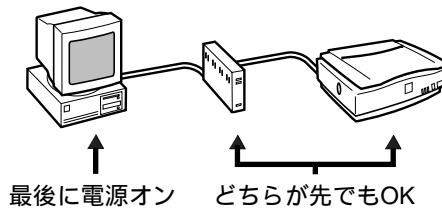
お使いの SCSI ボードや SCSI 機器によってコネクタ形状が異なりますので、お使いの SCSI ボードや SCSI 機器のコネクタに合うケーブル/変換コネクタをお買い求めください。

## SCSI の基礎知識

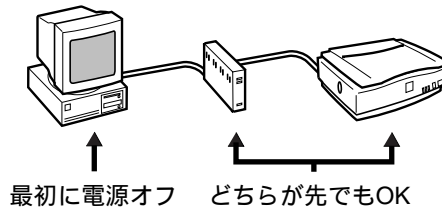
複数の SCSI 機器を接続する場合は、デジチェーン全体のケーブル総延長を 6 メートル以内にしてください (SCSI-2/3 対応の機器とデジチェーンする場合は 3メートル以内)。これ以上延長すると、SCSI 機器全体の動作が不安定になることがあります。



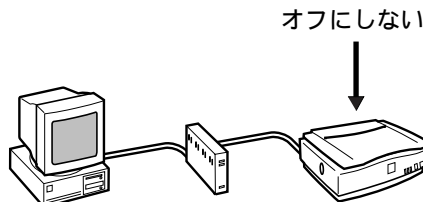
SCSI 機器を接続した場合は、まず SCSI 機器から電源をオンにし、最後に Macintosh の電源をオンにしてください。先に Macintosh の電源をオンにすると、SCSI 機器が認識されないことがあります。また、Macintosh が正常に動作しないことがあります。



電源をオフにするときは、まず Macintosh、次に SCSI 機器の順でオフにしてください。

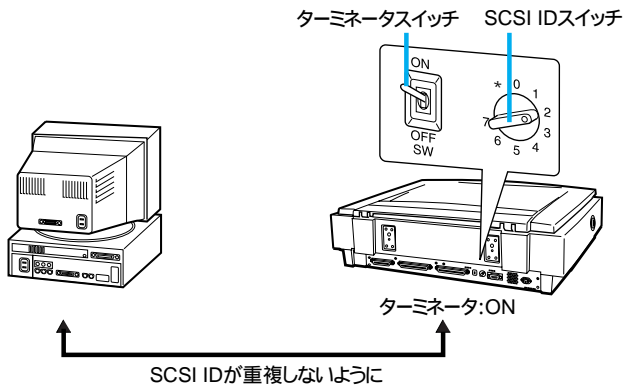


Macintosh の使用中は、ターミネータが ON (有効) になっている SCSI 機器の電源をオフにしないでください。また、Macintosh の使用中にスキャナの電源をオン / オフすると、正常に取り込みができなくなることがあります。

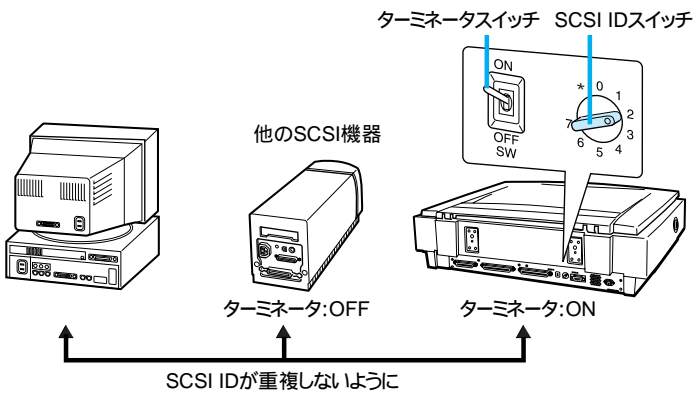


## SCSI ID とターミネータの設定

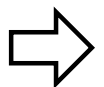
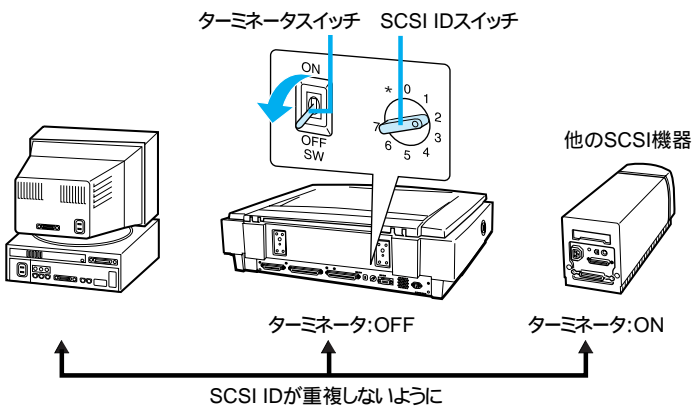
### スキャナを単独で接続する場合



### デジチェーンの終端に接続する場合



### デジチェーンの途中に接続する場合

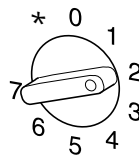


**ターミネータ :**

出荷時設定 (ON) のままでお使いください。OFF にすると正常に動作しません。

**SCSI ID :**

出荷時設定 (ID=2) のままです。設定を変える必要はありません。

**ターミネータ :**

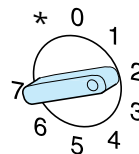
出荷時設定 (ON) のままでお使いください。OFF にすると正常に動作しません。

**SCSI ID :**

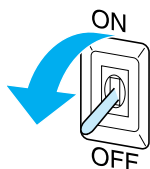
×印がついていない番号の中で、他の SCSI 機器が使用していない番号に設定します。重複していると正常に動作しません。

ID	可否	備考
0	×	ハードディスクで使用
1		通常、ハードディスクなどで使用
2		出荷時設定
3	×	Macintosh が CD-ROM 内蔵でない場合は可
4		
5		Macintosh が ZIP ドライブ内蔵の場合は×
6		
7	×	Macintosh が使用
*	×	無効

Macintosh が SCSI バス 0 (内蔵) と SCSI バス 1 (外付) を別系統として持っている場合でも、バス 0 およびバス 1 で使用している ID と重複しないように設定してください。

**ターミネータ :**

OFF にしてお使いください。ON のままだと正常に動作しません。



## SCSIケーブルの接続

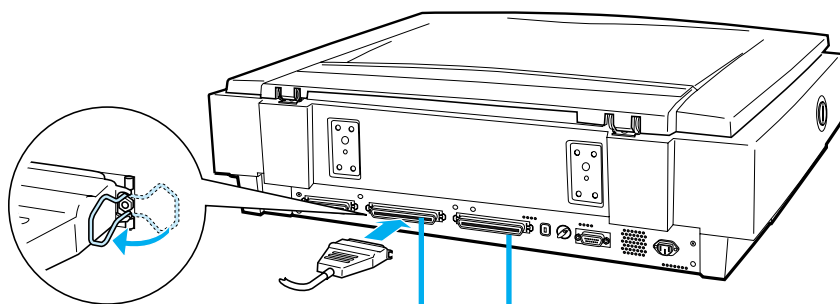


注意

接続する前に、Macintoshとスキャナの電源がオフになっていることを確認してください。電源がオンの状態でケーブルを抜き差しすると、機器自体の故障の原因になります。

1

SCSIケーブルを接続し、コネクタ両脇のクリップで固定します。



複数のSCSI機器を接続できますので、スキャナにはSCSIコネクタが2つあります。どちらのコネクタに接続してもかまいません。



ポイント

本スキャナはパラレルインターフェイスも装備しており、Windows PCと共有することも可能です。その場合は、以下の点にご注意ください。

- ・片方のインターフェイスの使用中は、もう一方のインターフェイスは使用できません。
- ・パラレルインターフェイスに接続しているコンピュータの電源がオフになっている場合、スキャナのリセットスイッチが有効にならないことがあります。

2

ケーブルのもう一方を、Macintoshや他のSCSI機器に接続します。

# Windows PC との平行接続

ここでは、ES-8000とコンピュータ(Windows95/98)との平行接続について説明します。

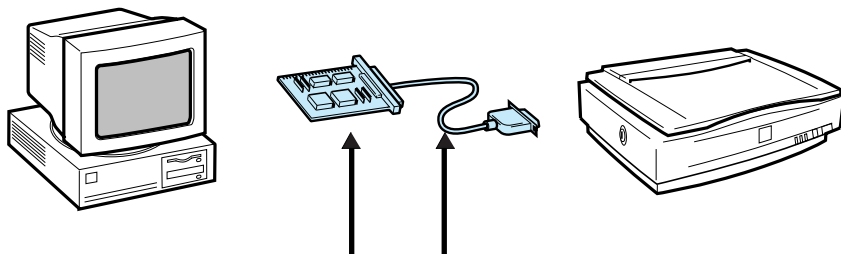
WindowsNTでは、平行接続はできません。

## 双方向平行ボードの取り付け

ES-8000を平行接続するには、まず、以下に示すオプションのインターフェイスボードをコンピュータに取り付ける必要があります。

取り付け方法については、コンピュータとインターフェイスボードの取扱説明書をご覧ください。

### NEC PC シリーズ / EPSON PC シリーズ



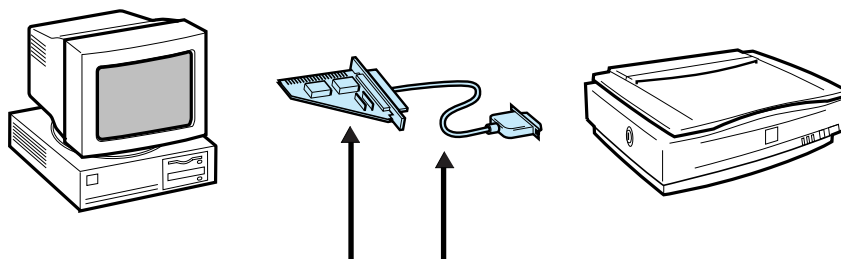
EPSON製 双方向平行インターフェイスセット：

型番 : GTPCSPIF

対応バス : Cバス (NEC PCシリーズでもCバスがないものがありますのでご注意ください。詳しくはコンピュータメーカーにお問い合わせください)

同梱品 : 平行インターフェイスボード、接続ケーブル

### DOS/V 機 (IBM PC/AT 互換機)



EPSON製 双方向平行インターフェイスセット：

型番 : GTATSPIF2

対応バス : ISAバス

同梱品 : 平行インターフェイスボード、接続ケーブル



ポイント

パラレルインターフェイスボード上のI/Oポートアドレスの設定を記録しておいてください。ソフトウェアをインストールする時に必要になります。

I/Oポートアドレスの設定値については、インターフェイスボードの取扱説明書をご覧ください。

## ケーブルの接続



注意

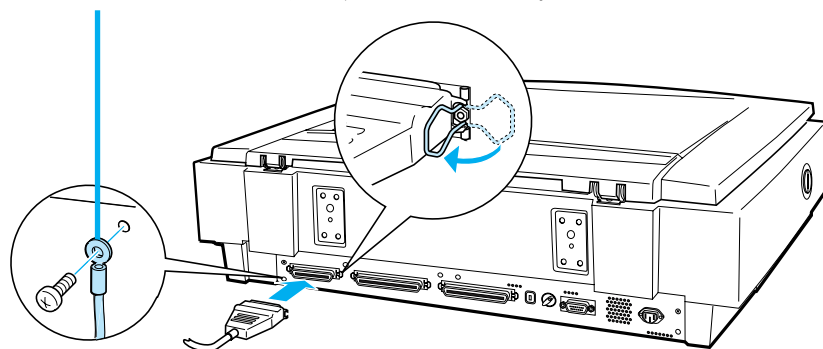
接続する前に、コンピュータとスキャナの電源がオフになっていることを確認してください。電源がオンの状態でケーブルを抜き差しすると、機器自体の故障の原因になります。

1

インターフェイスケーブルをスキャナに接続します。

コネクタ両脇のクリップを閉じて固定します。

ケーブルにFG線がついている場合は、FG端子に固定します。



2

ケーブルのもう一方を、コンピュータ（パラレルボードのコネクタ）に接続します。



ポイント

本スキャナは、SCSIインターフェイスも装備しています。SCSI、パラレル両方に接続する場合は、以下の点にご注意ください。

片方のインターフェイスの使用中は、もう一方のインターフェイスは使用できません。

パラレルインターフェイスに接続しているコンピュータの電源がオフになっている場合、スキャナのリセットスイッチが有効にならないことがあります。

# スキャナの**基本的**な使い方

ここでは、原稿のセット方法などについて説明しています。

原稿のセット .....	P.28
使用できる原稿 .....	P.31

# 原稿のセット

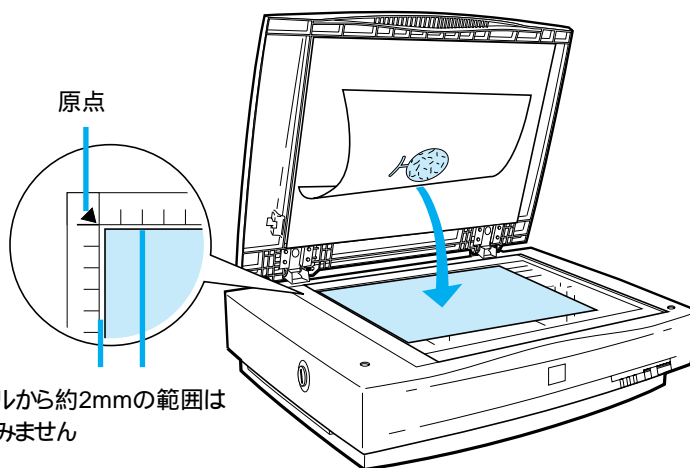
ここでは、スキャナへの原稿のセット手順を説明します。

1

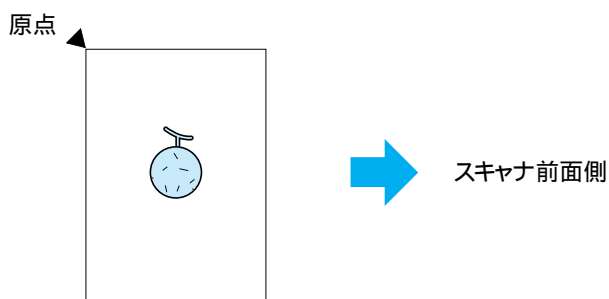
原稿カバーを開きます。原稿の取り込む面を下に向け、原稿台にセットします。

原点を合わせてまっすぐにセットしてください。

使用できる原稿のサイズや、原稿台よりも大きい原稿のセット手順については、31 ページ以降で説明しています。



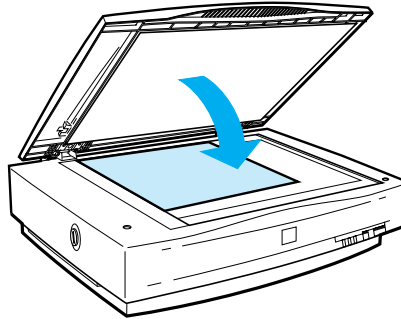
上図のようにセットした場合、取り込んだ画像の向きは次のようになります。



2

原稿が動かないよう注意しながら、原稿カバーを静かに閉じます。

原稿カバーを閉じるときは、静かに閉じてください。原稿が動くと、画像が斜めに取り込まれてしまいます。

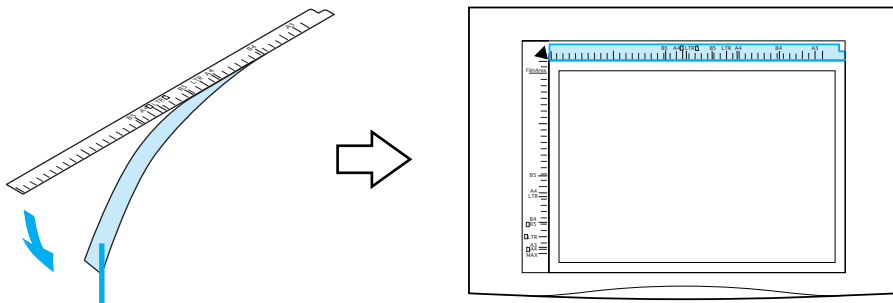


以上で原稿のセットは終了です。

## スケールストップについて

原稿台の長辺には、A3より大きな原稿をセットする場合に段差ができないよう、原稿を当てるストップを付けてありません。

しかしA3より小さな原稿をセットする場合に、原稿を当てるストップがほしい場合は、同梱のスケールストップを貼り付けてお使いください。



剥離紙をはがし、右図のようにスキャナに貼り付けます。  
はがした剥離紙は、スケールストップをスキャナからはがした場合  
(オプション装着時など)に必要ですので、保管しておいてください。



注意

オプションを使用する場合は、スケールストップは貼り付けしないでください。オプション使用時にスケールストップが貼り付けられていると、原稿に傷が付くおそれがあります。また、フィルムを正しく取り込めない場合があります。

## このあとは・・・

画像の取り込みには、「EPSON TWAIN Pro」というソフトウェアを使用しますので、画像を取り込む前に、EPSON TWAIN Proをインストールする必要があります。

### [ EPSON TWAIN Pro ]



しかし、EPSON TWAIN Pro は単独では動作できないソフトですので、「TWAIN規格」に対応したソフトウェアから呼び出して使用します。

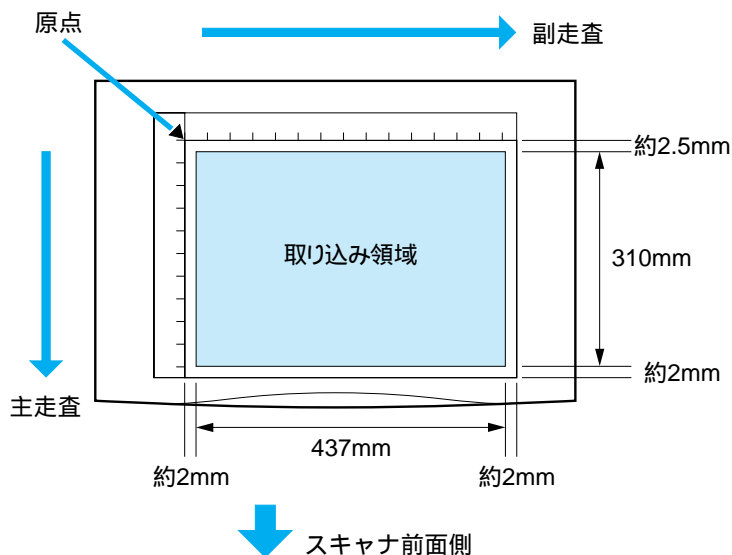
EPSON TWAIN Pro が納められている「ES-8000 ソフトウェア CD-ROM」には、各種 TWAIN 対応ソフトも納められていますので、併せてインストールしてください。TWAIN 対応ソフトについては、別冊「付属のソフトウェアのご案内」で紹介しています。

インストール方法については、「EPSON TWAIN Pro 取扱説明書」をご覧ください。

# 使用できる原稿

## 使用できるサイズ

最大A3サイズまでの大きさの原稿を取り込むことができます。ただし、原稿台についているスケールの内側約2mmの領域は取り込みません。



主走査：センサーで読み取る画素の1ラインごとの読み取り方向  
副走査：キャリッジの移動による読み取り方向



ポイント

縦横のスケールには、原稿サイズのおおよその目安が示してあります。

- ・ B5 (182mm × 257mm)
- ・ LTR (216mm × 279mm。アメリカで使われるレターサイズ)
- ・ A4 (210mm × 297mm)
- ・ A3 (297mm × 420mm)
- ・ MAX(最大サイズ。310mm × 437mm)

図面のように直行する線の多い原稿や、直線の多いイラストを取り込むときは、線の向きをスキャナの主走査または副走査にそろえるようにして原稿をセットすると、線のギザギザが少なくなります。

## 原稿台よりも大きい原稿のセット

原稿台よりも大きい原稿や、本などの厚い原稿を取り込むときは、原稿カバーをはずして原稿をセットすることができます。



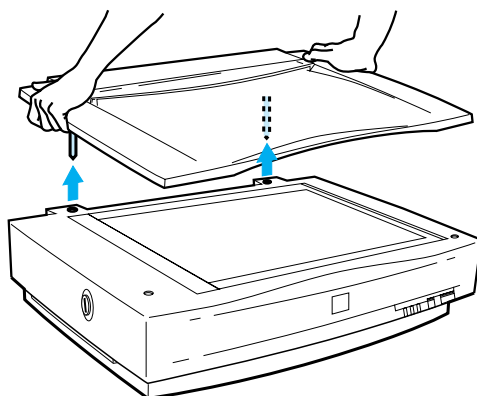
ポイント

原稿カバーをはずした状態で原稿をセットするときは、原稿を上から押さえて原稿台に密着させ、浮き上がらないようにしてください。

原稿を押さえるときは、原稿が動かないように、また力を加えすぎないように注意してください。

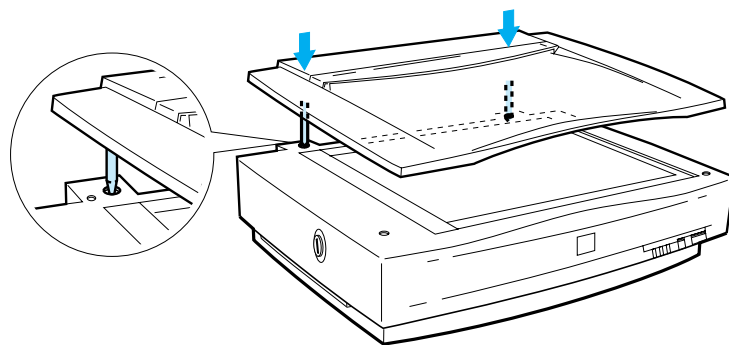
## 原稿カバーの取りはずし

原稿カバーの後ろを持ち、上に引いて取りはずします。



## 原稿カバーの取り付け

原稿カバーの2本の軸を上から差し込みます。



原稿カバーには強い力をかけたり、斜めに力を加えないでください。カバーが破損するおそれがあります。



注意

## 原稿の条件について

本機は反射原稿（光を反射する原稿）を取り込むイメージスキャナです。原稿の種類によってはうまく取り込めないこともあります。以下の点にご注意ください。

写真、印刷物など表面が平滑な原稿を使用してください。

貼り込みなどで表面に段差がある原稿を取り込んだ場合、段差のところに色にじみが生じることがあります。また、厚みのある原稿を取り込んだ場合も、にじみが生じることがあります。

写真フィルムなどの透過原稿を取り込むには、オプションの透過原稿ユニットが必要です。（36 ページ参照）

OHPシートを取り込む場合、白い背景に置いて原稿がはっきり見えるように書かれていれば、取り込むことができます。

原稿の紙が薄いときは、裏面や重ねてある紙の画像が裏映りして取り込まれることがあります。（黒い紙を原稿の裏側に重ねて取り込むと、改善できる場合があります）

# オプションの紹介

ここでは、オプションの取り付け方などを説明しています。

オプションの紹介 .....	P.36
透過原稿ユニットの取り付け .....	P.40
透過原稿のセット .....	P.43
オートドキュメントフィーダ(ADF)の取り付け .....	P.56
原稿のセット .....	P.62
ADF の取りはずし .....	P.66

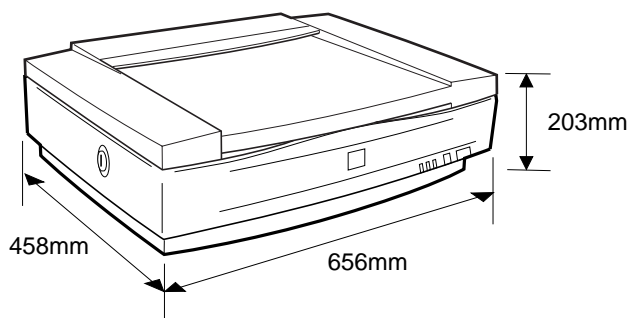
# オプションの紹介

本機は、活用範囲を広げる各種オプションを用意しています。型番をご確認の上、お買い求めください。

## スキャナ用オプション

### 透過原稿ユニット（型番：ESA3FLU）

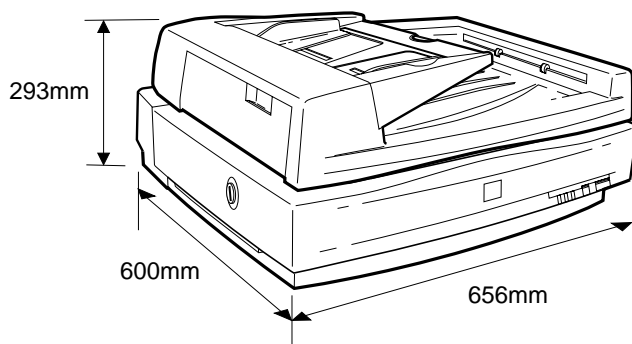
カバーを開けたときの高さ：最大596mm



透過原稿（ポジフィルム／ネガフィルム）取り込み装置です。スキャナに取り付けることにより、透過原稿を取り込むことができます。スキャナへの取り付け方法は40ページを、取り込み可能サイズと使用方法については43ページをご覧ください。

### オートドキュメントフィーダ(型番：ESA3ADF)

カバーを開けたときの高さ：最大685mm



原稿連続取り込み装置です。スキャナに取り付けることにより、原稿を連続して取り込むことができます。大量の文書の取り込みやファイリングに威力を発揮します。

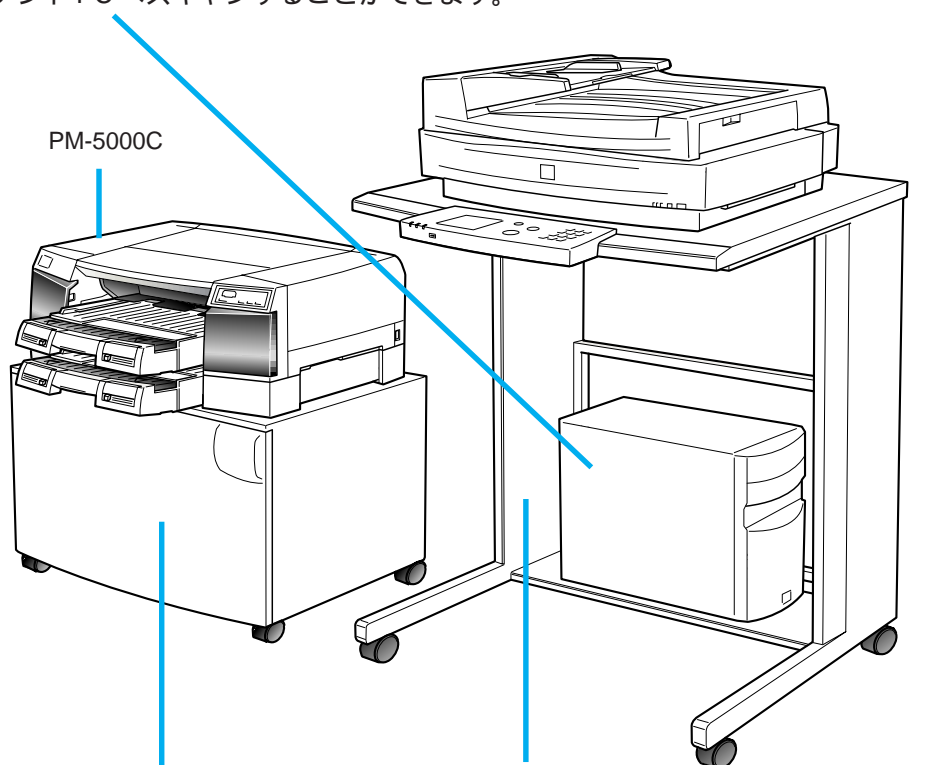
このADFは、両面取り込みも可能です。

スキャナへの取り付け方法・使用方法については、56ページをご覧ください。

## EPSON 製プリンタ接続用オプション

### CS-5000N

ES-800と PM-5000C を接続し、カラーコピーとして利用できる装置です。ネットワークに対応しているので、クライアント PC から CS-5000N に接続しているプリンタに印刷したり、CS-5000N に接続しているスキャナからクライアント PC へスキャンすることができます。



PM-5000C

ES-8000 専用キャビネット

CS-5000N、操作パネル、スキャナを効率良く設置することのできる、専用キャビネットです。  
型番：CSCBN1

PM-5000C 専用キャビネット

ES-8000 専用キャビネットに収まるサイズの内紙入れです。内部は3段構造になっており、A3 ノビサイズに対応しています。また、この専用キャビネットはプリンタの設置台としても最適です。  
型番：CSCBN2

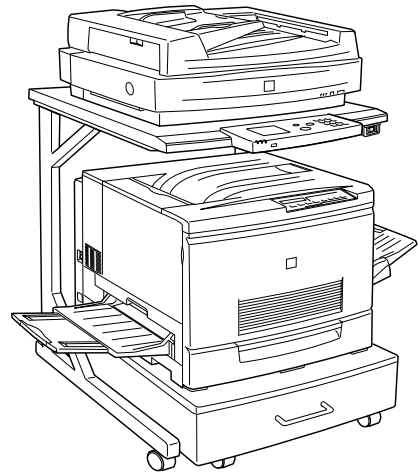
## CS-5500N

ES-8000とカラーレーザープリンタLP-8000Cを接続し、カラーコピーとして利用できる装置です。ネットワークに対応しているので、クライアントPCからCS-5500Nに接続しているプリンタに印刷したり、CS-5500Nに接続しているスキャナからクライアントPCへスキャンすることができます。

### 専用キャビネット（1）

CS-5500N、操作パネル、プリンタ（オプションカセットなし）スキャナを効率よく配置することができる専用キャビネットです。

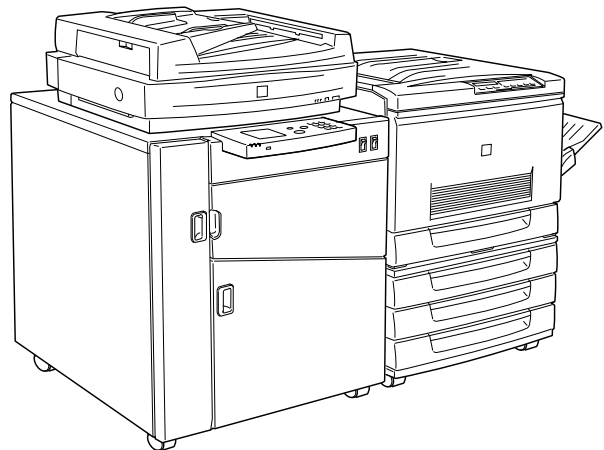
型番：CSCBN3



### 専用キャビネット（2）

オプションの増設カセットを装着したLP-8000CとCS-5500N、操作パネル、スキャナを効率よく配置できる専用キャビネットです。

型番：CSCBN4



## コンピュータ接続用オプション

### パラレル接続用オプション




コンピュータとスキャナをパラレル接続するためのオプションです。お使いの機種に合わせてお買い求めください。

コンピュータ	オプション商品名	同梱品
NEC PC シリーズ* EPSON PC シリーズ (Cバス用)	型番：GTPCSPIF 双方向パラレルI/Fセット	パラレルインターフェイス ボード、接続ケーブル
DOS/V 機 (IBM PC/AT 互換機) (ISA バス用)	型番：GTATSPIF2 双方向パラレルI/Fセット	パラレルインターフェイス ボード、接続ケーブル

\* NEC PCシリーズでもCバスがないものがありますのでご注意ください。詳しくはコンピュータメーカーにお問い合わせください。

### SCSI ケーブル

デジチェーンするためのSCSIケーブルです。お使いのSCSIボードやSCSI機器のコネクタに合ったケーブルをお買い求めください。

型番	ケーブル仕様	
EPSON 製 GTATSCCB1	アンフェノール50ピン(フル) × アンフェノール50ピン(フル)	
EPSON 製 GTATSCCB2	アンフェノール50ピン(フル) × 50ピン高密度ピンタイプ	 

### ノートブックコンピュータ接続用オプション

EPSON製 GTSCIFS (PCMCIA スロット (TYPE ) 用)

ノート型のコンピュータとスキャナを接続するためのオプションです。SCSIカード、SCSIケーブル、SCSIドライバのセットです。

# 透過原稿ユニットの取り付け

ここでは、オプションの透過原稿ユニットの取り付け方法を説明します。

## 輸送用固定ネジの取りはずし

輸送中の衝撃から透過原稿ユニットの駆動部分を保護するために、固定ネジが取り付けられています。お使いの前に、必ず取りはずしてください。

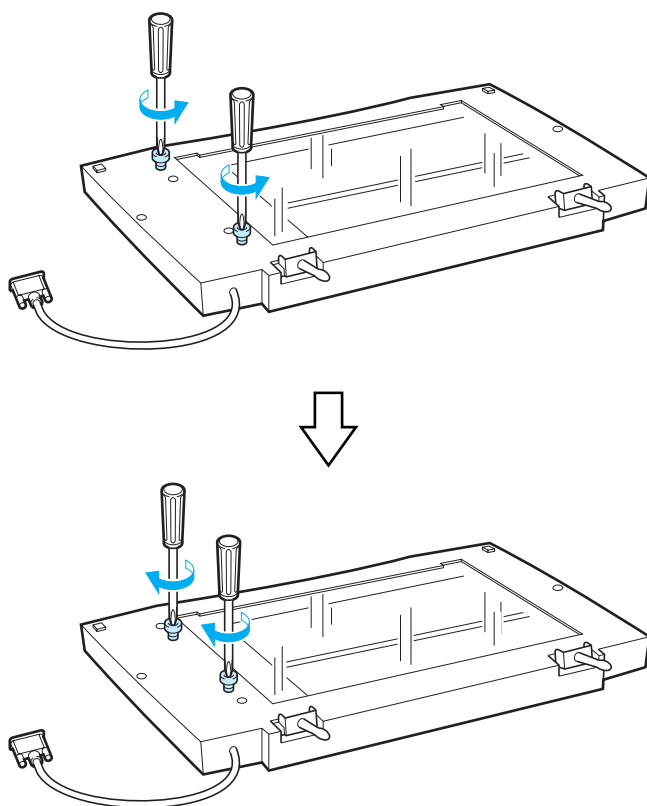
1

透過原稿ユニットのガラスのある面を上に向けます。

2

図の位置のネジをゆるめ、はずします。取りはずしたネジを、図の位置の保管穴に取り付けます。

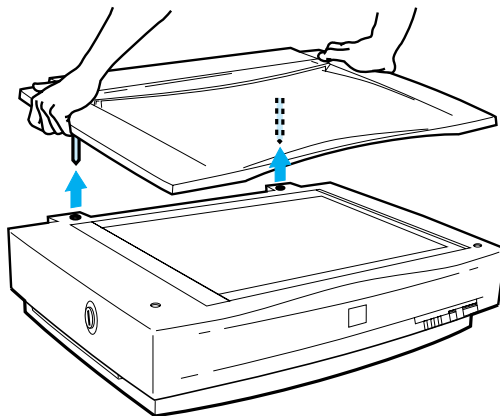
輸送用固定ネジは輸送時に必要です。必ず保管穴に取りつけて保管してください。



## スキャナへの取りつけ

1

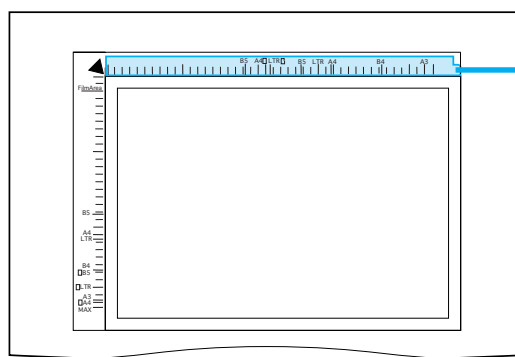
スキャナの電源をオフにし、原稿カバーを取りはずします。



2

スキャナにスケールストップを貼り付けてある場合は、スケールストップをはがします。

スケールストップの粘着部分には、購入時にスケールストップに貼られていた剥離紙を貼り付けて保管してください。

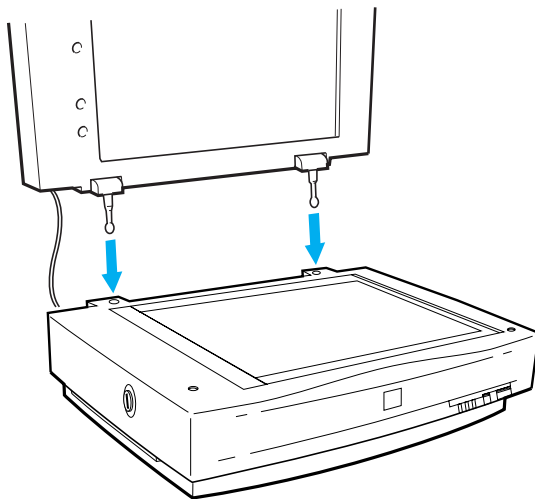


ポイント

必ず、スケールストップをはがしておいてください。透過原稿ユニット使用時にスケールストップが貼り付けられていると、フィルムを正しく取り込めない場合があります。

3

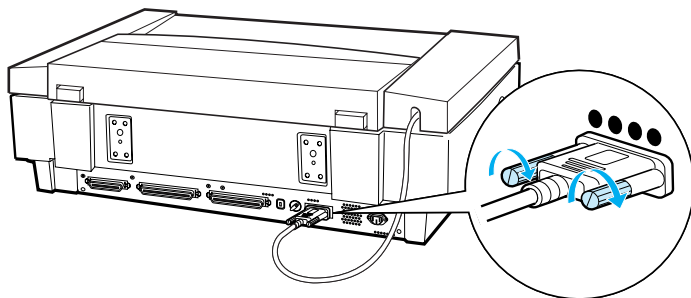
透過原稿ユニットを持ち上げ、ユニットの2本の軸をスキヤナの穴に差し込みます。



4

透過原稿ユニットを閉じます。スキヤナ背面のオプションコネクタに透過原稿ユニットのコネクタを取り付け、コネクタ両脇のネジで固定します。

これで透過原稿ユニットの取り付けは終了です。



注意

透過原稿ユニットの上には、透過原稿ユニットに付属の反射原稿マット、フィルムホルダ、または薄手の原稿以外は置かないでください。重いものを置くと、故障の原因となる場合があります。

スキヤナの移動時には、透過原稿ユニットを取りはずし、スキヤナの固定ノブをLOCKにするとともに、透過原稿ユニットに固定ネジを取りつけてください。

輸送用固定ネジがうまく取りつかない場合、透過原稿ユニットの駆動部分の位置がずれているおそれがあります。この場合、もう一度透過原稿ユニットをスキヤナに取り付け、ユニットを閉じた状態でスキヤナの電源をオンにしてください。ユニットの駆動部分が自動的にホームポジションに戻ります。

# 透過原稿のセット

透過原稿ユニットにセットできる原稿は次の通りです。

種類 : ポジ/ネガフィルム(モノクロ、カラー、スライド(マウント)可)

サイズ : 最大 290mm × 420mm まで

## 透過原稿ガイドのセット

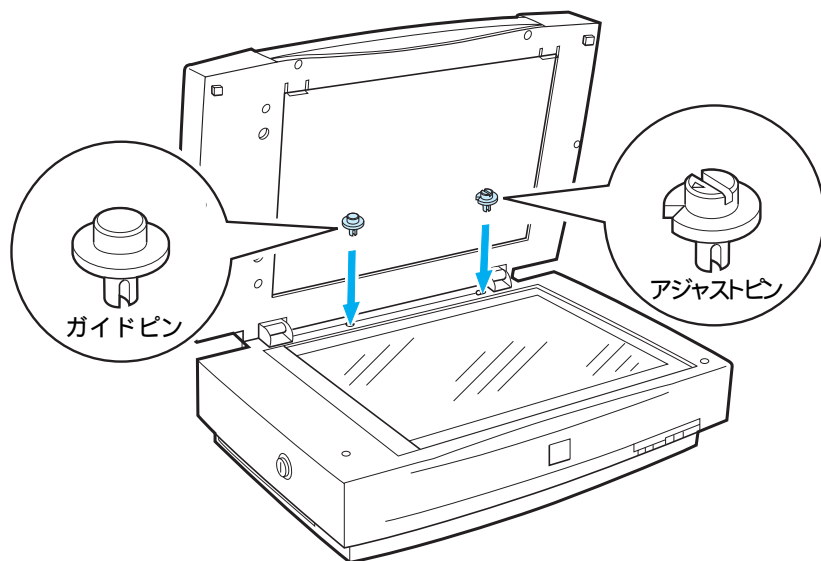
透過原稿をセットする前に、まず、透過原稿ガイドをセットします。

1

透過原稿ユニットを開き、ガイドピンとアジャストピンを差し込みます。

これらのピンは透過原稿ユニットに付属していますが、スキャナに付属している原稿ガイド用のガイドピンとアジャストピンを既に差し込んである場合は、同じピンですので差し替える必要はありません。

アジャストピンは、ピンの矢印がガイドピンの中心に向くように差し込んでおいてください

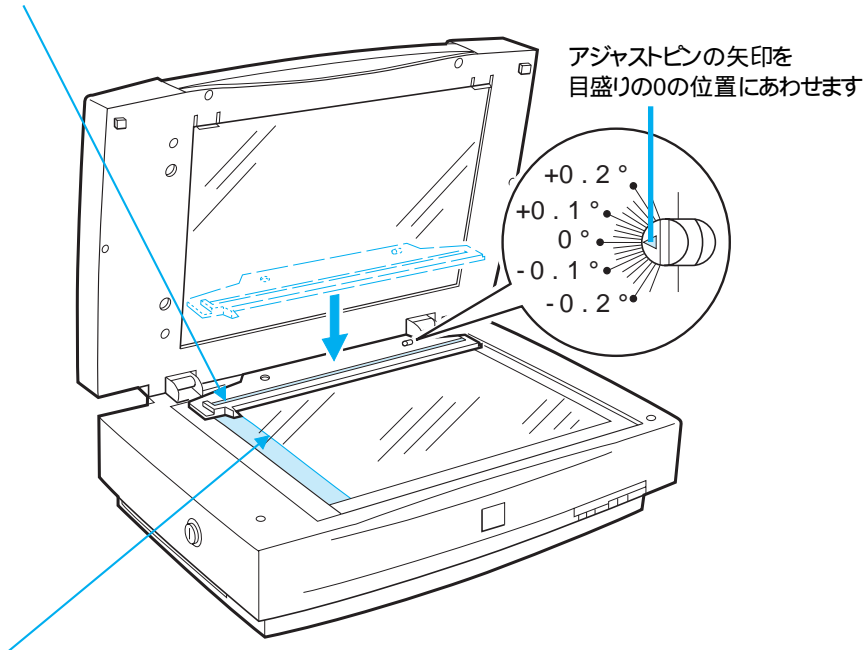


## 2

透過原稿ガイドを、2本のピンにあわせてセットします。

透過原稿ガイドの長穴が、アジャストピン側になるようにセットしてください。

この窓は、蛍光ランプの光量を一定に保つために、光量をモニターするために開いています。絶対にふさがないでください。



ここより原点側は、白基準を設定する(何も無い部分を真っ白(濃度255)とする)ためのエリアです。このエリアには、絶対に物を置かないでください。



ポイント

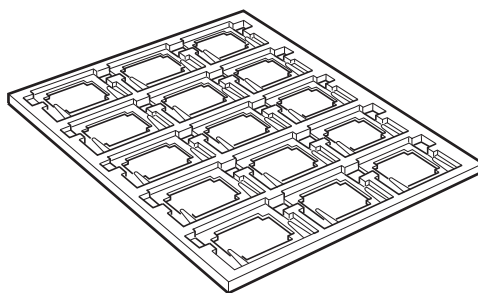
EPSON TWAIN Proの[設定保存]ダイアログに、各フィルム(ホルダ)にあわせた取り込み枠が登録されています。(EPSON TWAIN Pro取扱説明書(P.113)参照)

この取り込み枠は、フィルムおよびフィルムホルダを本書中の図の向きでセットした場合にあわせていますので、フィルムおよびフィルムホルダを図の向きでセットしてください。

35mmスライドフィルムのセット	.....	P.45へ
35mmストリップフィルムのセット	.....	P.46へ
120/220(中判)フィルムのセット	.....	P.49へ
4×5インチフィルムのセット	.....	P.51へ
8×10などの大きなフィルムのセット	.....	P.53へ

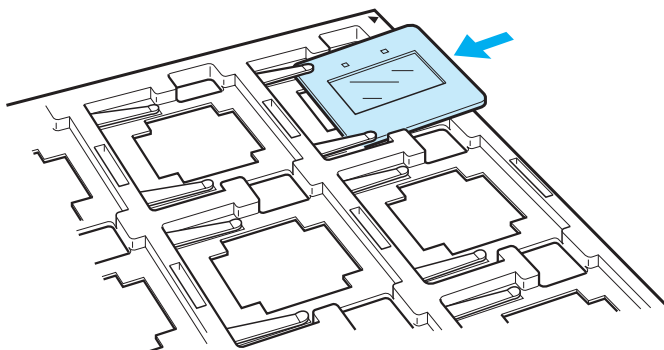
## 35mm スライドフィルムのセット

35mm スライドフィルムのセットには、以下のフィルムホルダを使用します。  
スライド（マウント）は2mm 以内の厚さのものを使用してください。



3

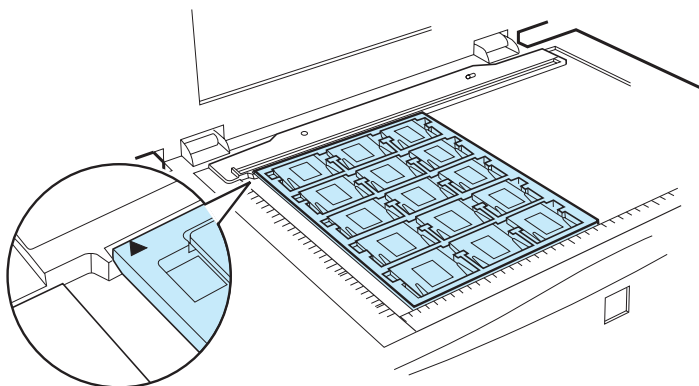
35mm スライドフィルムホルダに、スライドフィルムをセットします。  
フィルムのベース面（像が正しく見える面）を下に向けてセットします。



4

フィルムのベース面が下になるように、フィルムホルダを原稿台にセットします。

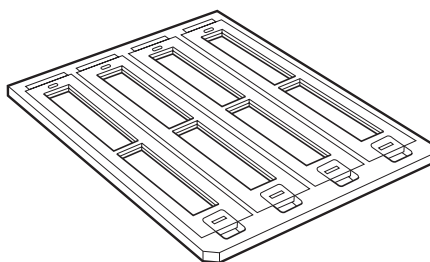
先に原稿台にセットしておいた透過原稿ガイドにあわせてセットします。



●●● 53ページの11へ →

## 35mm ストリップフィルムのセット

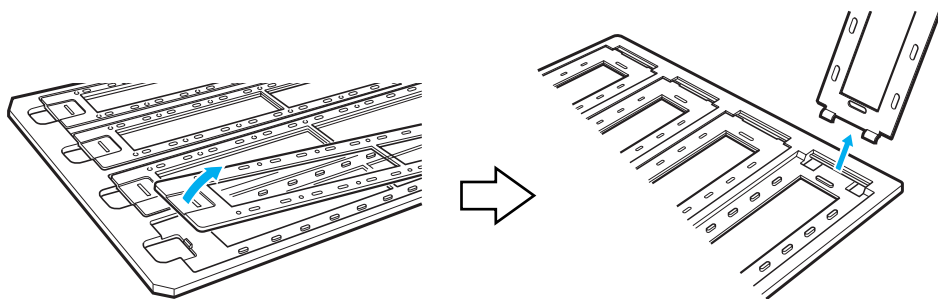
35mmストリップフィルムのセットには、以下のフィルムホルダを使用します。



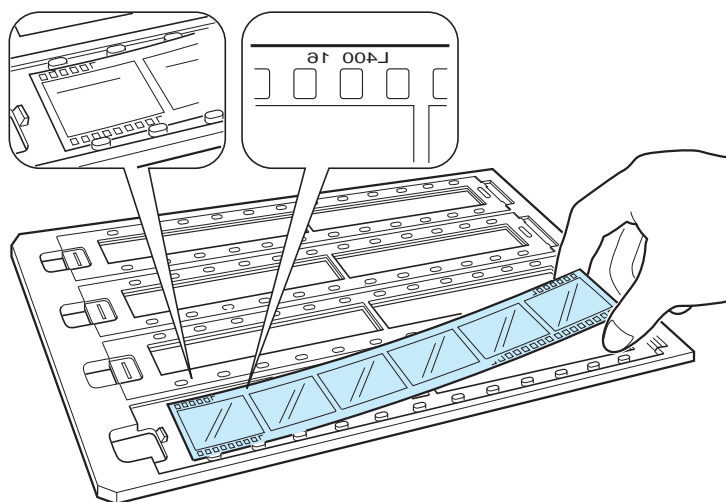
# 5

35mmストリップフィルムホルダに、ストリップフィルムをセットします。

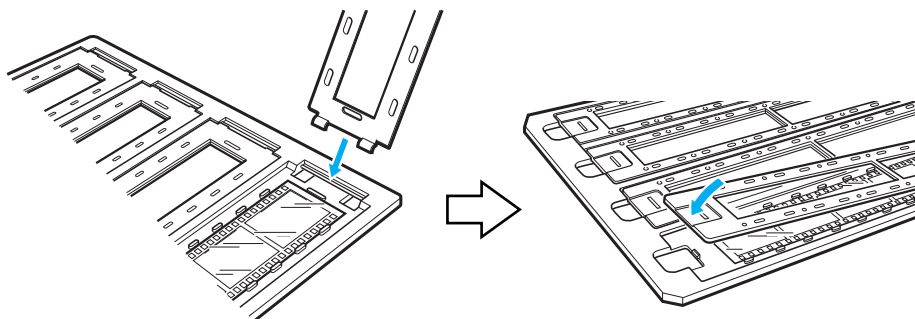
- 1 フィルムホルダを机の上などに置き、カバーをはずします。



- 2 フィルムのベース面（像が正しく見える面）を下に向けてセットします。フィルムは、指紋や手の油がつかないように、図のように端面を指ではさんで持つか、または手袋をはめて持ってください。



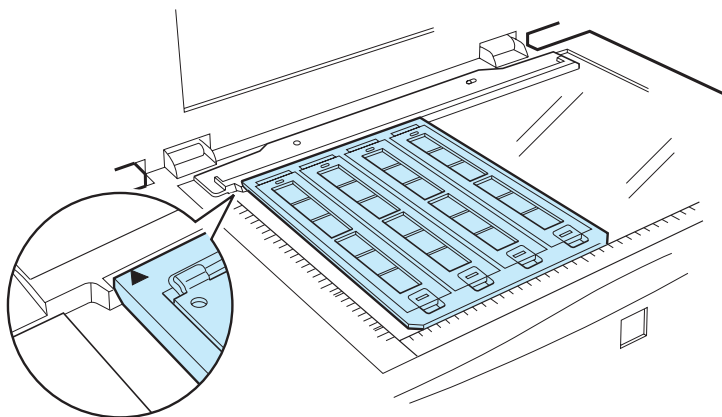
3 はずしたカバーを静かに取りつけます。



6

フィルムのベース面が下になるように、フィルムホルダを原稿台にセットします。

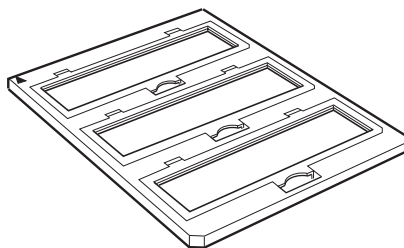
先に原稿台にセットしておいた透過原稿ガイドにあわせてセットします。



●●● 53 ページの 11 へ →

## 120/220 フィルムのセット (スライドでないもの)

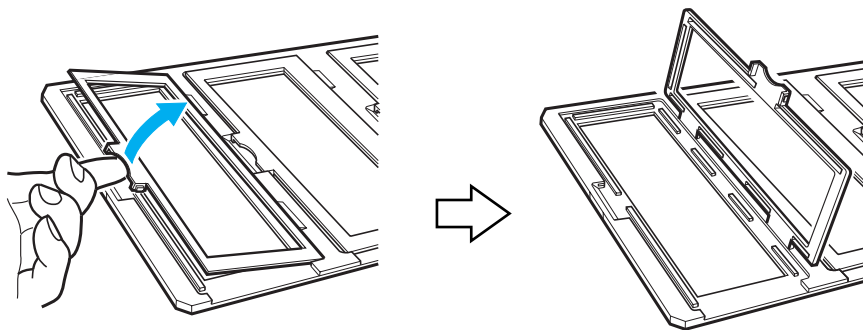
120/220(中判)フィルムのセットには、以下のフィルムホルダを使用します。



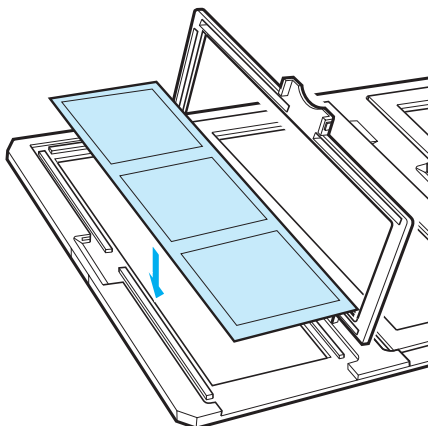
7

120/220フィルムホルダに、120/220フィルムをセットします。

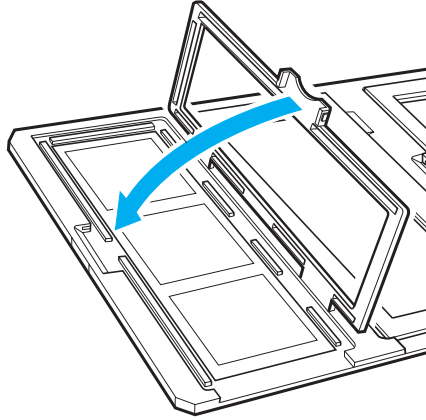
- 1 フィルムホルダを机の上などに置きます。図の部分を持ち上げ、カバーを開けます。



- 2 フィルムのベース面 (像が正しく見える面) を下に向けてセットします。



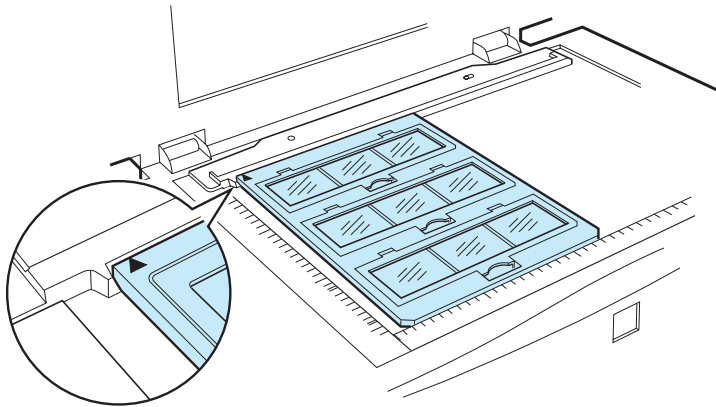
3 カバーを静かに閉じます。



8

フィルムのベース面が下になるように、フィルムホルダを原稿台にセットします。

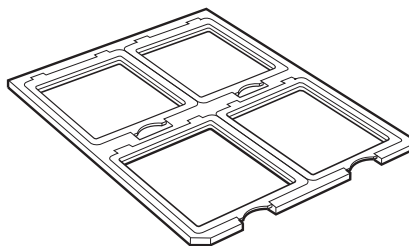
先に原稿台にセットしておいた透過原稿ガイドにあわせてセットします。



●●● 53 ページの 11 へ →

## 4 × 5 インチフィルムのセット

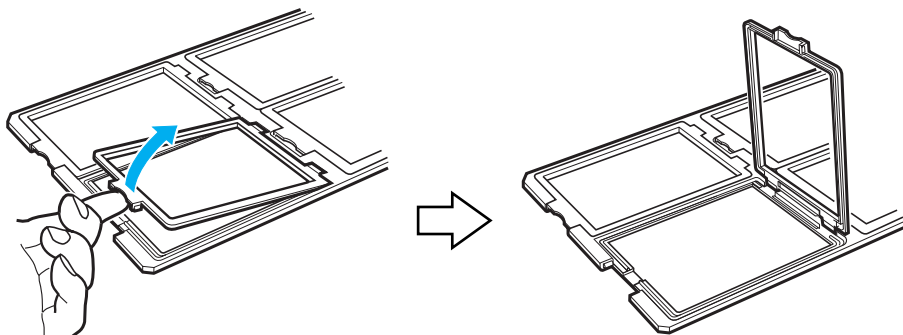
4 × 5 インチフィルムのセットには、以下のフィルムホルダを使用します。



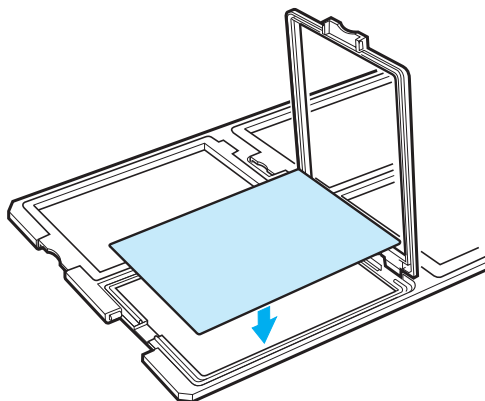
9

4 × 5 インチフィルムホルダに、4 × 5 インチフィルムをセットします。

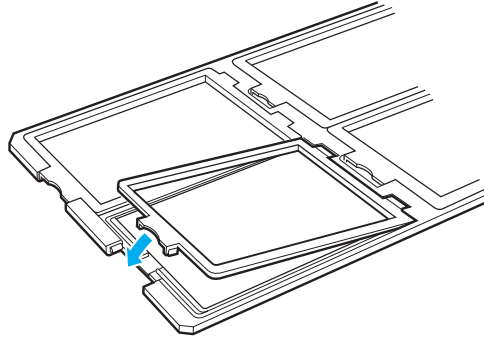
- 1 フィルムホルダを机の上などに置きます。図の部分を持ち上げ、カバーを開けます。



- 2 フィルムのベース面（像が正しく見える面）を下に向けてセットします。



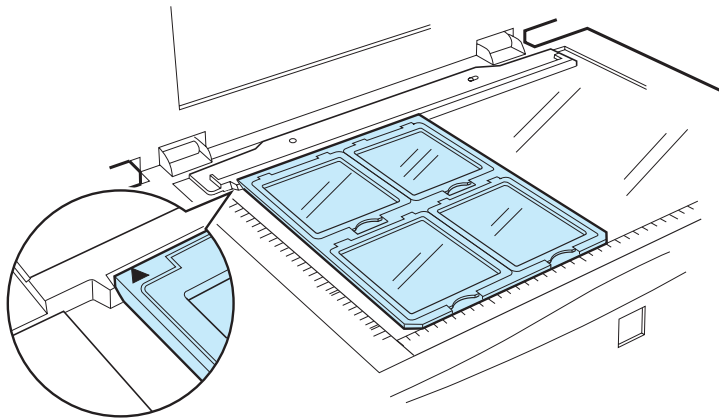
3 カバーを静かに閉じます。



10

フィルムのベース面が下になるように、フィルムホルダを原稿台にセットします。

先に原稿台にセットしておいた透過原稿ガイドにあわせてセットします。

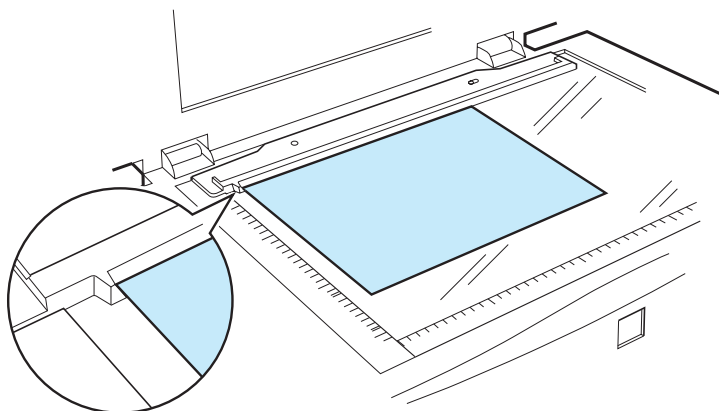


●●● 53 ページの 11 へ →

## 8 × 10 などの大きなフィルムのセット

フィルムホルダにセットできない大きなフィルムは、ベース面(像が正しく見える面)を下に向け、直接原稿台にセットします。先に原稿台にセットしておいた透過原稿ガイドにあわせてセットしてください。

取り込むことのできる最大サイズは、290mm × 420mm です。



11

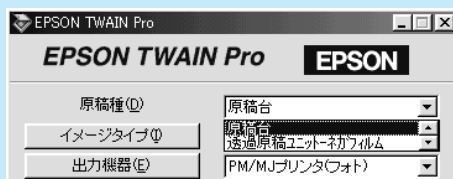
透過原稿ユニットを静かに閉じます。

透過原稿ユニットは確実に閉じてください。しっかり閉じていない場合、エラーとなり取り込みができません。



ポイント

透過原稿ユニットを使用して画像を取り込むときは、EPSON TWAIN Proの「原稿種」項目で「透過××」を選択してください。詳しくは、EPSON TWAIN Pro 取扱説明書(P.66)をご覧ください。



なお、この項目で「原稿台」を選択し、透過原稿ユニットに反射原稿マットを取りつければ、透過原稿ユニットを取りつけたままでも、原稿台にセットした反射原稿を取り込むことができます(55ページ参照)。

以上で透過原稿のセットは完了です。

透過原稿の取り込みは、画像取り込みソフト「EPSON TWAIN Pro」から実行します。詳しくは、EPSON TWAIN Pro 取扱説明書をご覧ください。

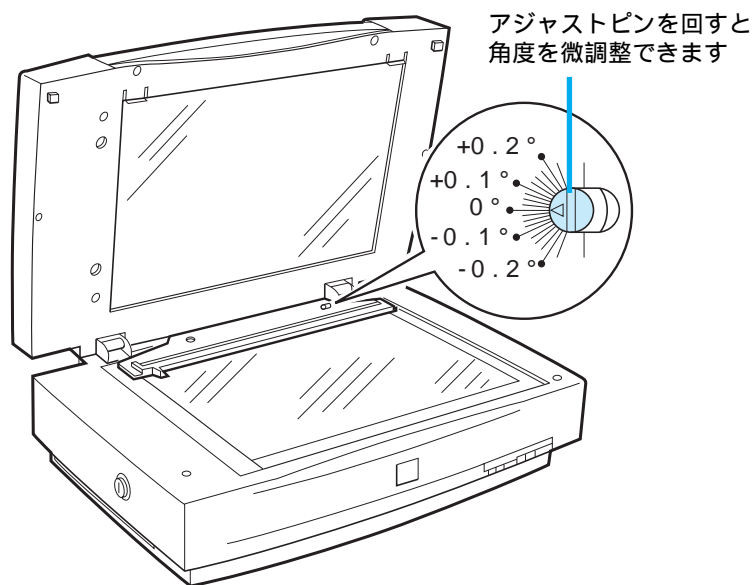
## フィルムの取り込みで色のついた縞模様が生じるときは

これは、透過原稿(フィルム)の取り込みで発生する光学的な現象で、ニュートンリングといいます。シャボン玉の表面に見える虹と同じ原理で、非常に薄い2層の膜があるところに発生します。(フィルムをガラス面に直接置いた場合に、発生しやすくなります)

このときは、フィルムを表裏反対(膜面をスキャナのガラス側)にして取り込んでみてください。膜面をガラス側に向けると、ガラスとフィルム面の間に感光剤の凹凸が入りますので、ニュートンリングが発生しにくくなります。取り込んだら、TWAIN 対応ソフトで画像を鏡像反転させて本来の向きにしてください。

## 透過原稿ガイドの角度調整機能について

透過原稿ガイドには、角度を調整する機能があります。この機能は、EPSON TWAIN Proの[設定保存]ダイアログに登録されている取り込み枠と、フィルムホルダの角度がズれている場合にご利用ください。



## 反射原稿の取り込み

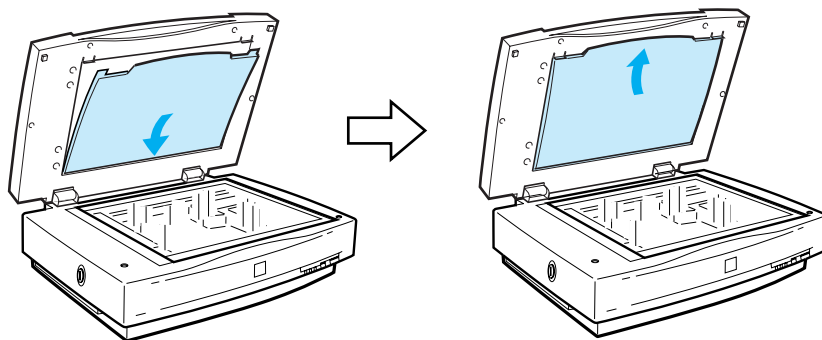
透過原稿ユニットをスキャナに取りつけたままでも、原稿台上に反射原稿(紙などの、光を反射する原稿)をセットし、取り込むことができます。その場合、反射原稿マットを透過原稿ユニットに取りつける必要があります。

1

透過原稿ユニットを開け、透過原稿ガイドを取りはずします。

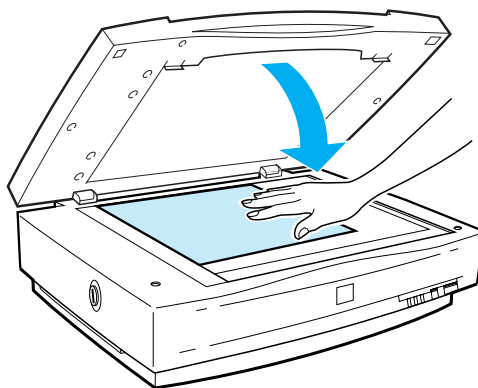
2

透過原稿ユニットに、反射原稿マットを取りつけます。



3

原稿をセットし、透過原稿ユニットを閉じます。



再び透過原稿を取り込む際は、反射原稿マットを取りはずし、透過原稿ガイドを取りつけてください。

# オートドキュメントフィーダ (ADF) の取り付け

ここでは、オプションのオートドキュメントフィーダ (ADF) の取り付け方法を説明します。



## ⚠注意

ADFは重く(約15kg)、取り付け前は不安定ですので、取り付け作業は必ず2人以上で行ってください。1人で行うと、落下によりけがをしたり、ADFが破損するおそれがあります。

## スキャナへの取り付け

1

スキャナの電源をオフにし、ケーブル類をすべて取りはずします。

2

スキャナの周囲に人が作業できるスペースを確保します。また、できるだけ低い位置に置きます。

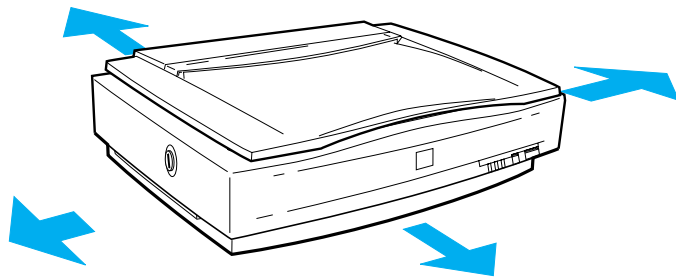
ADFは、スキャナの背面側から取り付けますので、背面側に、ADFを取り付けるための作業スペースを確保してください。



## ⚠注意

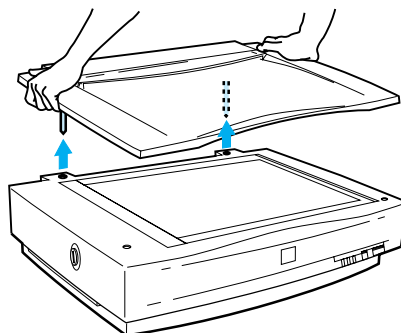
ADFを取りつけるときは、作業を容易にするため、腰よりも低い安定した位置にスキャナを置き、落下によるけがやADFの破損が起きないように注意して作業してください。

人が作業できるスペース



3

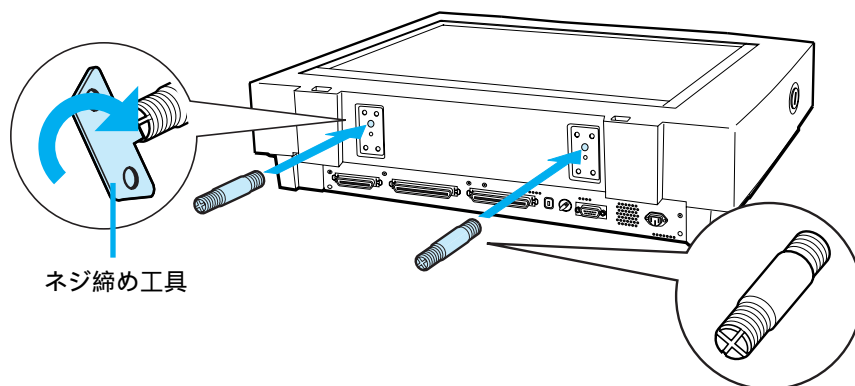
スキヤナの前稿カバーを取りはずします。



4

ADFに付属のネジを、スキヤナ背面に取り付けます。

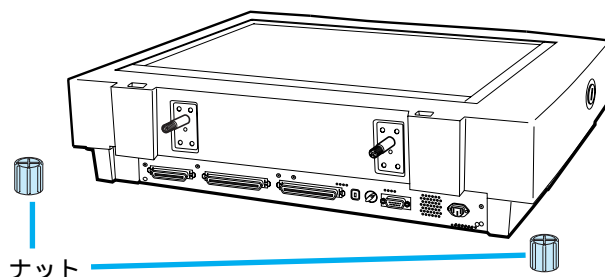
手で締められるところまで締めてから、ADFに付属のネジ締め工具を使って固く締めます。



5

ADFに付属のナットを、スキヤナの近く（背面側）に置きます。

このナットは、ADFの固定に使用するものです。ADFを取りつける前に、スキヤナ背面側に置いておきます。

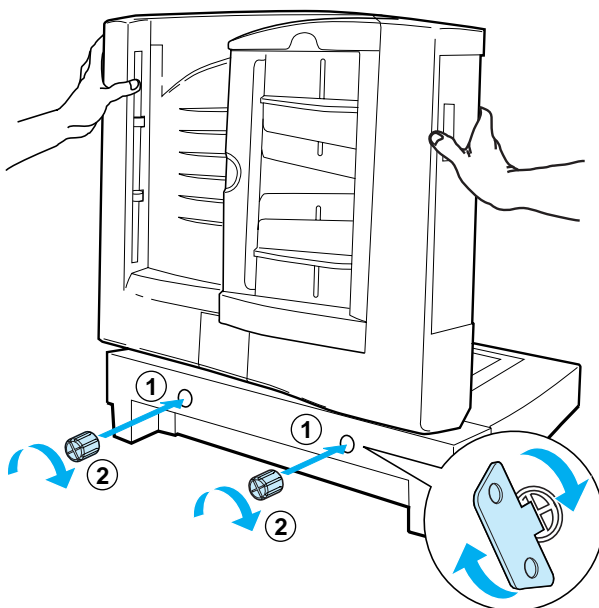
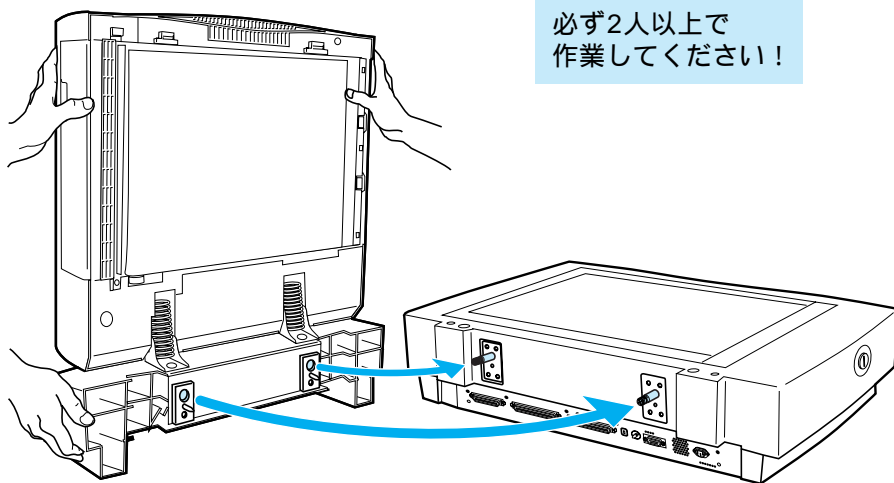


6

ADFを2人以上で持ち上げます。スキャナ背面に取りつけたネジにADFの取り付け穴を差し込み、ナットで固定します。

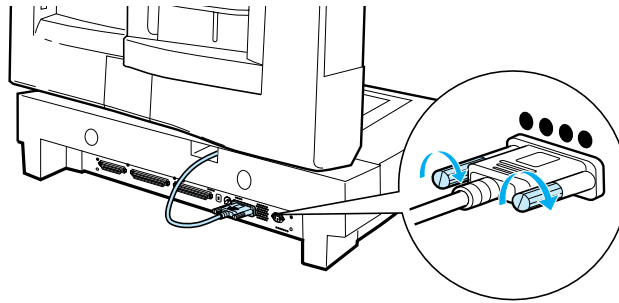
手で締められるところまで締めてから、ADFに付属のネジ締め工具を使って固く締めます。

必ず2人以上で  
作業してください！



7

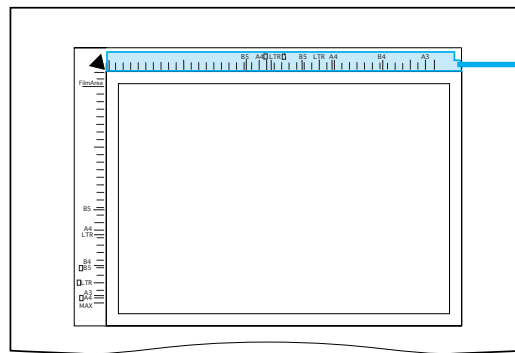
スキャナ背面のオプションコネクタにADFのコネクタを取りつけ、コネクタ両脇のネジで固定します。



8

スキャナにスケールストップを貼り付けてある場合は、スケールストップをはがします。

スケールストップの粘着部分には、購入時にスケールストップに貼られていた剥離紙を貼り付けて保管してください。



この部分を持って  
はがします



注意

必ず、スケールストップをはがしておいてください。ADF使用時にスケールストップが貼り付けられていると、原稿に傷が付くおそれがあります。

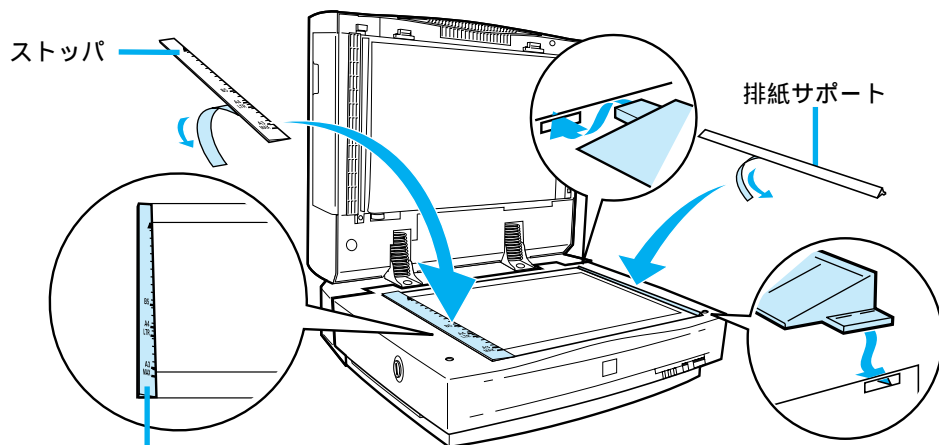
9

ADFに付属のストッパと排紙サポートを、スキャナ本体に貼りつけます。  
裏側の剥離紙をはがし、図の位置に貼りつけます。



注意

ADFに付属のストッパと排紙サポートは、原稿の停止および排紙に必要な不可欠な部品ですので、必ず貼りつけてください。貼りつけないと、ADFが正常に動作しません。また、原稿がつかんだり、折れたりすることがあります。



スキャナ本体のスケールとぴったり合うように  
貼りつけます



ポイント

ADFにストッパが2種類(白色と灰色)同梱されている場合は、**白色**のストッパを貼りつけてください。

10

ADFを閉じます。ADFとスキャナとが、ガタなく、しっかりと固定されているか確認します。

ガタがある場合は、ナットを増し締めしてしっかりと固定します。

11

スキャナを2人以上で持ち上げ、設置する場所に置きます。

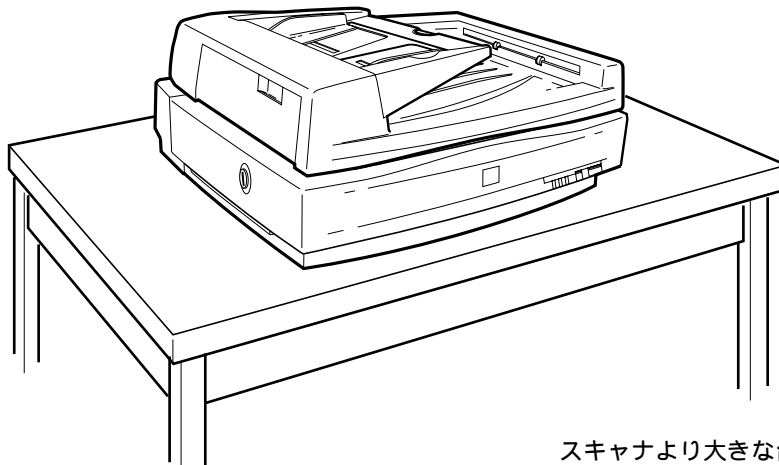


### ⚠注意

ADFを取りつけた状態では、総重量は約35kgになります。必ず、2人以上で運んでください。

必ず、水平で安定した頑丈な場所に設置してください。また、ADFを取りつけた状態のスキャナより大きな台に設置してください。

ADFを開けるときは、ゆっくり開けてください。勢いよく開けると、反動でスキャナが動く（設置位置がズれる）場合があります。



スキャナより大きな台に設置してください。

12

取りはずしたケーブル類を接続します。

これでADFの取り付けは終了です。

# 原稿のセット

ADF にセットできる用紙は以下の通りです。

写真原稿など特に貴重な原稿は、カールなどで原稿を傷めるおそれがありますので使用しないでください。

サイズ  違うサイズ の用紙を 一緒に セットし ないで ください。	A5 (148mm × 210mm)
	B5 (182mm × 257mm)
	LETTER (216mm × 279mm)
	A4 (210mm × 297mm)
	LEGAL (216mm × 356mm)
	B4 (257mm × 364mm)
	A3 (297mm × 420mm)
	不定形紙 幅 140 ~ 297mm 長さ 148 ~ 420mm
セットできる枚数	A4、LETTER 以下 : 50 枚 (80g/m <sup>2</sup> ) B4、LEGAL 以上 : 30 枚 (80g/m <sup>2</sup> ) (エッジガイドの目盛りを超えてセットしないこと)
紙質	上質紙、再生紙、ボンド紙
紙厚	50 ~ 127g/m <sup>2</sup>



注意

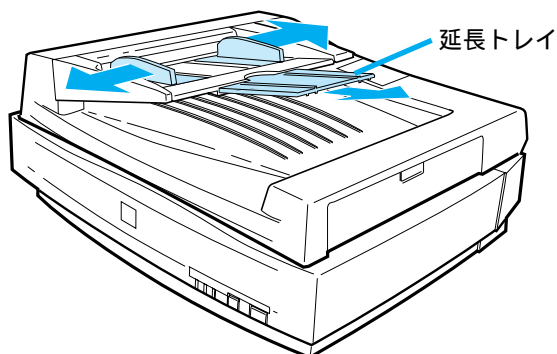
以下の用紙は、ADFでは使用しないでください。給紙不良、また ADF の故障などの原因になります。

- ・折り目、しわ、カール、破れのある用紙
  - ・糊、ホチキス、クリップなどがついた用紙
  - ・形状が不規則な用紙、裁断角度が直角でない用紙
  - ・貼り合わせ、裏カーボン、綴じのある用紙（製本物）
  - ・薄すぎる用紙、厚すぎる用紙、光沢紙、透明紙、半透明紙
- カタログ類は、正常に給紙されない場合があります。

1

ADFのエッジガイドを、セットする原稿サイズの目盛りの位置まで広げます。

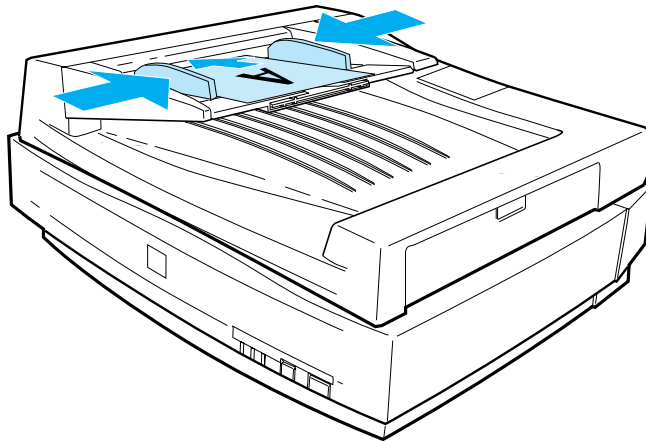
B4 以上の原稿をセットするときは、延長トレイを引き出します。



2

原稿の取り込む面を上にして、ADFの目盛りにあわせて奥に突き当たるまで差し込みます。

両面原稿の場合は、表面を上に向けて差し込みます。原稿を差し込んだら、エッジガイドを原稿にぴったりと当てます。



ポイント

ADFを使用して画像を取り込むときは、EPSON TWAIN Proの「原稿種」項目で「ADF-XX」を選択してください。詳しくは、EPSON TWAIN Pro取扱説明書（P.66）をご覧ください。



なお、この項目で「原稿台」を選択すれば、ADFを取りつけたままでも、原稿台にセットした原稿を取り込むことができます。カラー原稿などを高品位で取り込みたいときは、ADFを使わず、原稿台から取り込むことをおすすめします。

ADF動作中にADF本体を開けたり、ADFのカバーを開けたりするとスキャナ本体がエラーとなり、取り込みができません。必ず、閉じた状態でお使いください。

ADFを取りはずすときは、66ページをご覧ください。

以上で原稿のセットは完了です。

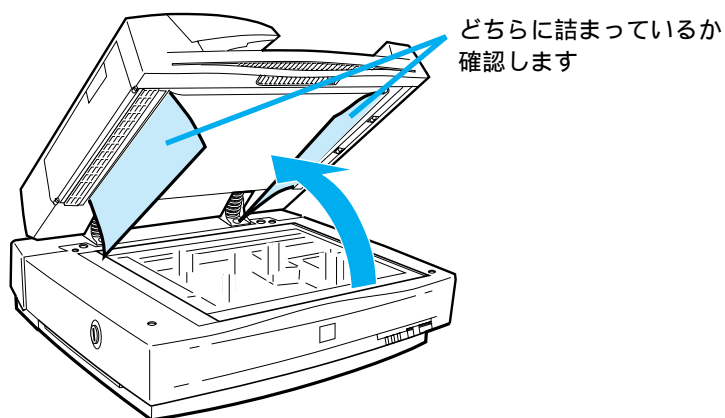
ADFを使っでの取り込みは、画像取り込みソフト「EPSON TWAIN Pro」から実行します。詳しくは、EPSON TWAIN Pro 取扱説明書および、ADFに付属の取扱説明書をご覧ください。

## 原稿が詰まったときは

ADFで原稿が詰まると、EPSON TWAIN Proで「ADFの用紙が詰まりました」というメッセージが表示されます。このときは、次の手順で詰まった原稿を取り除いてください。

1

ADFを開け、原稿が詰まっている場所を確認します。

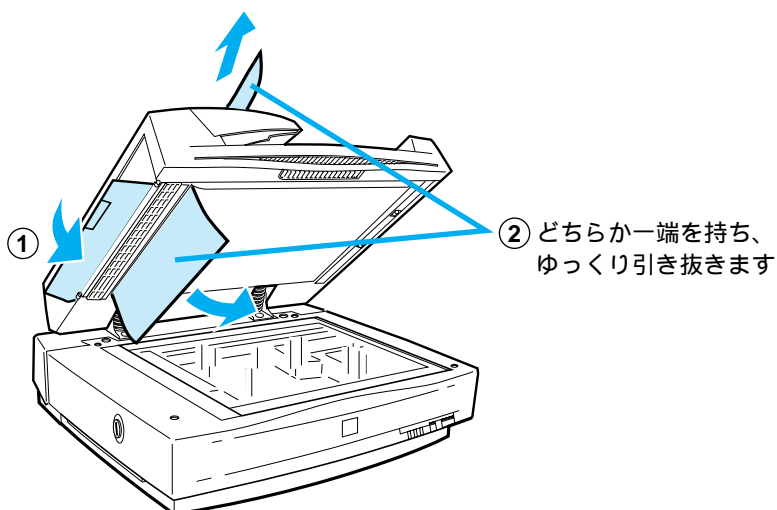


2

詰まっている原稿を取り除きます。

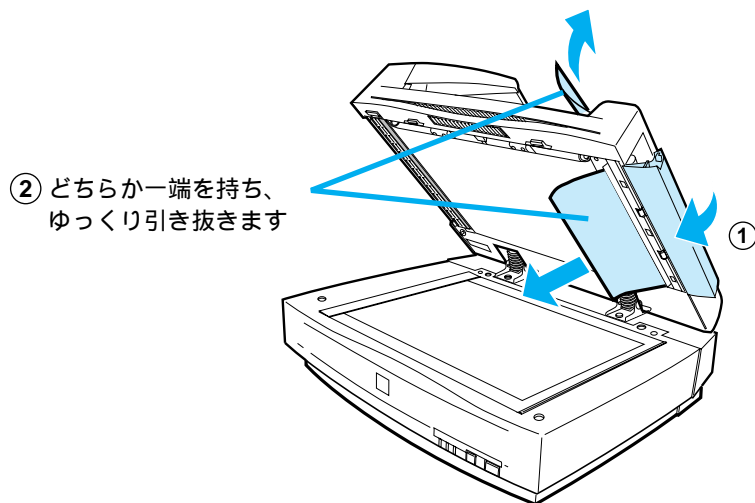
給紙口で詰まった場合

図のカバーを開け、原稿を押さえる力を解放します。原稿のどちらか一端を持ち、ゆっくり引き抜きます。強く引っ張ると原稿が破れるおそれがありますのでご注意ください。



排紙口で詰まった場合

図のカバーを開け、原稿を押さえる力を解放します。原稿のどちらか一端を持ち、ゆっくり引き抜きます。強く引っ張ると原稿が破れるおそれがありますのでご注意ください。



3

原稿を取り除いたら、ADFのカバーを閉じてから、ADF本体を閉じてスキャナをリセットします。

# ADFの取りはずし

何らかの理由で ADF を取りはずすときは、次の手順で作業してください。



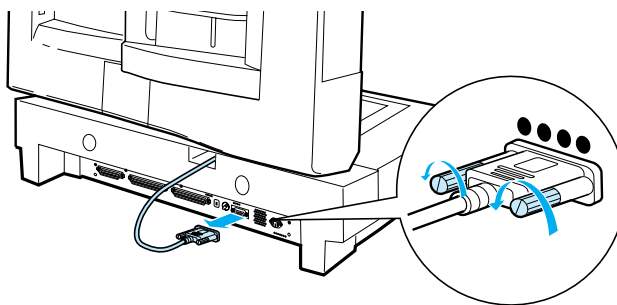
## ⚠注意

ADFは重く(約15kg)、取りはずし後は不安定ですので、取りはずし作業は必ず2人以上で行ってください。1人で行うと、落下によりけがをしたり、ADFが破損するおそれがあります。

ADFを取りはずすときは、作業を容易にするため、腰よりも低い安定した位置にスキャナを置き、落下によるけがやADFの破損が起きないように注意して作業してください。

1

スキャナの電源をオフにし、オプションコネクタを取りはずします。  
また、ケーブル類をすべて取りはずします。



2

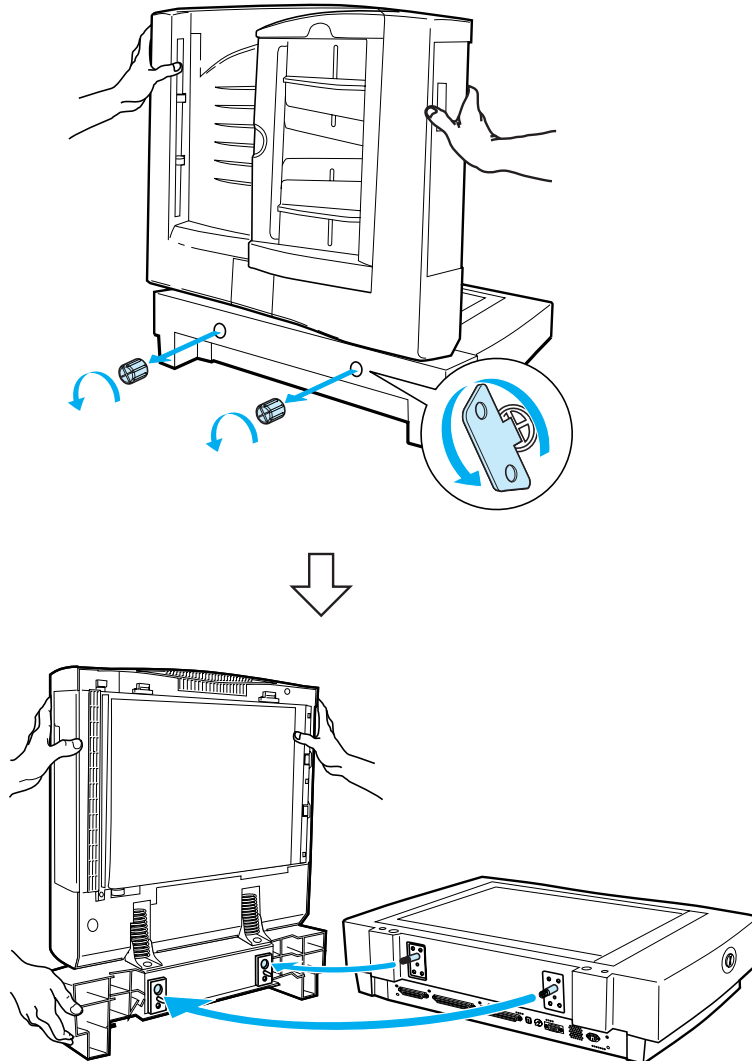
ADFを開けます。ADFを手で支えながら、ADFを固定しているナットをはずし、ADFをゆっくり取りはずします。

ナットの取りはずしには、ADFに付属のネジ締め工具をお使いください。



## ⚠️注意

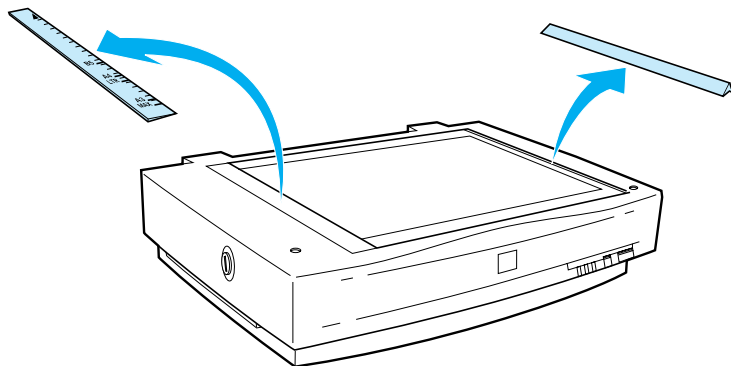
ナットは、必ず ADF を開け、手で支えながらはずしてください。ADF を閉じた状態でナットをはずすと、ADF のバネの力により、ADF の固定部分が跳ね上がり、けがをしたり、ADF が破損するおそれがあります。



3

スキャナに貼りつけたストッパと排紙サポートをはがします。

これらをはがしておかないと、通常の前稿カバーや透過原稿ユニットがしっかり閉まらず、正常な取り込みができません。必ずはがしてください。



ポイント

ストッパと排紙サポートはくり返し貼ることができます。粘着部分にほこりがつかないように保管し、再び ADF を取りつけるときに貼りつけてください。

# 困ったときは

---

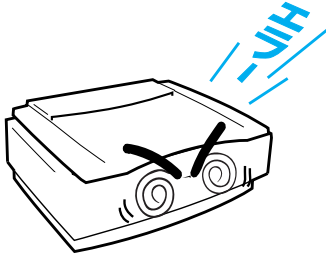
ここでは、困ったときの対処方法を説明しています。

故障かな？と思ったら .....	P.70
スキャナのエラー表示 .....	P.72
スキャナの電源をオンにしたときのトラブル ....	P.73
オプション関係のトラブル .....	P.74
Windows95/98 で SCSI ボードが認識されないときは ..	P.78
お問い合わせいただく前に .....	P.79
サポートのご案内 .....	P.81

# 故障かな？と思ったら

現在の症状がどれにあてはまるかを次の中から選び、それぞれの参照先をご覧ください。

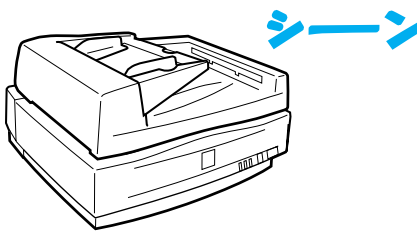
## スキャナの電源をオンにしたときのトラブル



電源がオンにならない、オンになるとエラーが出るなどのトラブルの対処方法を説明しています。

本書 (P.73)

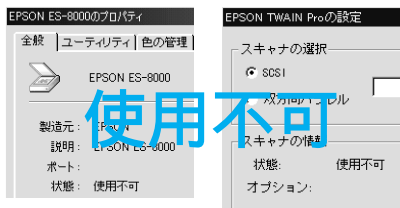
## スキャナにオプションを取りつけたときのトラブル



透過原稿ユニットを取り付けると異常動作する、オプションが使用できない (EPSON TWAIN Pro で選べない) などのトラブルの対処方法を説明しています。

本書 (P.74)

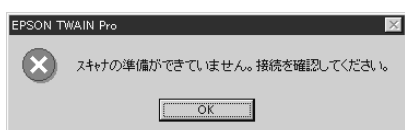
## スキャナが認識されない



スキャナが認識されない場合の対処方法を説明しています。

EPSON TWAIN Pro 取扱説明書 (P.123)

## 画像取り込み時のトラブル



エラーメッセージが出てEPSON TWAIN Pro が起動できない、また画像が取り込めないなどのトラブルの対処方法を説明しています。

EPSON TWAIN Pro 取扱説明書  
(P.129)

## 取り込んだ画像の品質上のトラブル



モアレが発生した例

取り込んだ画像が暗い、色がおかしい、モアレが出るなどのトラブルの対処方法を説明しています。

EPSON TWAIN Pro 取扱説明書  
(P.135)



## ⚠️ 注意

次のような場合は故障と思われるので、すぐに電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店またはサービスセンターにご連絡ください。

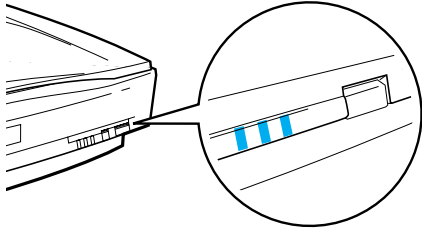
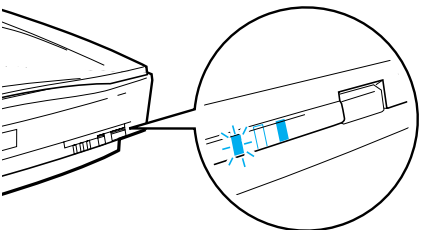
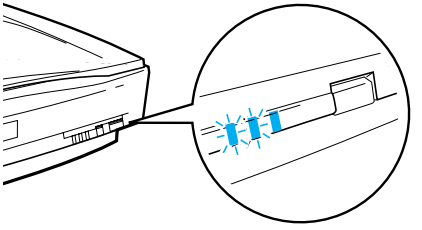
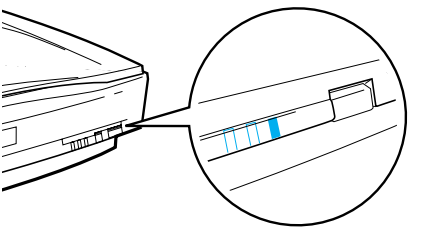
- ・ スキャナが極端に発熱する（非常に温度が高い）、ケースに変形が起こる
- ・ 変な臭いや音が出る、煙が出る
- ・ スキャナの ERRORランプが消灯しない

内部には高圧回路があるため、絶対に分解しないでください。なお、サービスセンターの連絡先は裏表紙にあります。

# スキャナのエラー表示

スキャナでエラーが起こったときは、ランプの表示でエラーの内容を確認することができます。

：点灯    ：点滅    ：消灯

ランプ表示 / エラー種類	エラーの内容 / 対処
<p>コマンドエラー</p> 	<p>ソフトウェアの設定や送られてきたコマンドに誤りがあります。ソフトウェアで取り込み操作をもう一度やり直してください。スキャナをリセットする必要はありません。</p>
<p>通信エラー</p> 	<p>インターフェースの接続か設定に誤りがあります。インターフェースの接続や設定を確認してから RESET スイッチを押してください (P.(10))。それでもエラーが解除されなければ、スキャナの電源をオフにし、10 秒ほど待ってからオンにしてください。</p>
<p>システムエラー</p> 	<p>スキャナの輸送用固定ノブが LOCK になっている (P.73) か、透過原稿ユニットの輸送用固定ネジをはずしていない (P.40) 可能性があります。スキャナの電源をオフにし、エラーの原因を取り除いてから再度オンにしてください。それでもエラーが解除されない場合は、スキャナ本体の故障が考えられますので、サービスセンターにご相談ください。(裏表紙参照)</p>
<p>オプションエラー</p> 	<p>ADF や透過原稿ユニットを完全に閉じていないか、または ADF の紙詰まり (P.64) などが考えられます。これらをご確認ください。</p>

# スキャナの電源をオンにしたときのトラブル

## 電源がオンにならない



チェック

電源コードはスキャナとコンセントに接続されていますか？

電源コードを接続してください。コンセントに電気が通じていないこともありますので、ほかの電気製品をつないで動くかどうか調べてください。

## 電源オンでエラーが出る

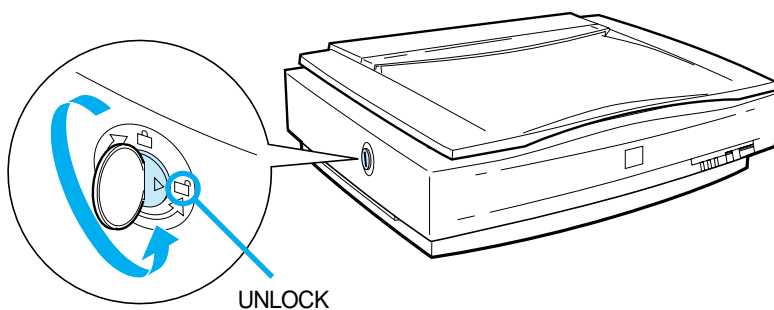
ERROR・READYランプが点滅する(システムエラーになる)場合は、次のことが考えられます。



チェック

輸送用固定ノブが LOCK の状態になっているため、キャリッジが動けない状態になっています。

電源をオフにしてから、コインなどを使って輸送用固定ノブを UNLOCK の位置に回してください。



# オプション関係のトラブル

## 透過原稿ユニットを取りつけ、電源オンで「ガガガ」音

この場合、システムエラーになります（ERROR・READYランプ点滅）。

### チェック

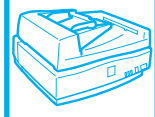


透過原稿ユニットの輸送用固定ネジをはずしていないため、キャリッジが動けない状態になっています。

電源をオフにしてから、透過原稿ユニットの輸送用固定ネジをはずしてください（P.40）。

## オプションを使用して取り込みができない

### チェック



オプションは正しく取り付けられていますか？

以下のページを参照し、取り付けを確認してください。

- ・透過原稿ユニット……………P.40
- ・オートドキュメントフィーダ…P.56

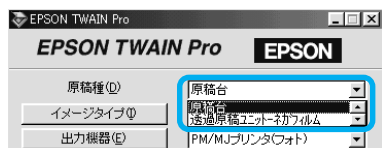
### チェック



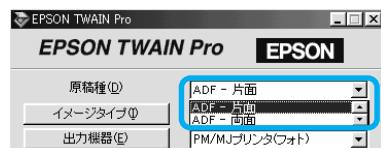
EPSON TWAIN Proの「原稿種」項目でオプションを選択していますか？

EPSON TWAIN Pro 取扱説明書（P.66）を参照し、「原稿種」項目でオプションを選択してください。

透過原稿ユニットの場合



ADF の場合



### チェック



ADFからの取り込みで「全ページ」を選択している場合、TWAIN対応ソフトが複数取り込みに対応していますか？

TWAIN対応ソフトが複数取り込みに対応していなければ、「全ページ」の取り込みはできません。原稿セット枚数を1枚だけにした上で「1ページのみ」を選択し、1枚ずつ取り込んでください。（1枚ずつ、この手順を繰り返してください。複数枚セットしておくと、偶数ページが取り込まれません）

TWAIN対応ソフトが複数取り込みに対応しているかどうかは、TWAIN対応ソフトの取扱説明書でご確認ください。

## 透過原稿の取り込みで画像がおかしい

### チェック



白基準エリアに物を置いていませんか？

白基準エリアに物を置くと、何も無い部分を真っ白（濃度 255）とするための補正が正常に働かず、適切な画像になりません。白基準エリアには、絶対に物を置かないでください。（P.44）

### チェック



スキャナ本体に同梱されていたスケールストップパをはがしてありますか？

透過原稿ユニットを使用する場合は、必ず、スケールストップパをはがしておいてください。透過原稿ユニット使用時にスケールストップパが貼り付けられていると、フィルムを正しく取り込めない場合があります。詳しくは、41 ページをご覧ください。

## 透過原稿の取り込みで色つきの縞模様が生じる

### チェック



フィルムを表裏反対（膜面をスキャナのガラス側）にして取り込んでみてください。

膜面をスキャナのガラス側に向けると、ガラスとフィルム面の間に感光剤の凹凸が入りますので、縞模様が発生しにくくなります。取り込んだら、TWAIN 対応ソフトで画像を鏡像反転させて本来の向きにしてください。（縞模様は、ニュートンリングといえます。54 ページ参照）

## ADF から給紙した原稿に傷が付く

### チェック



スキャナ本体に同梱されていたスケールストップパをはがしてありますか？

ADF を使用する場合は、必ず、スケールストップパをはがしておいてください。ADF 使用時にスケールストップパが貼り付けられていると、原稿に傷が付くおそれがあります。詳しくは、59 ページをご覧ください。

## ADF から取り込んだ画像が上下にズれる

### チェック



ADF に付属のストップパと排紙サポートを、スキャナ本体に正しく貼りつけていますか？

ストップパと排紙サポートは、原稿の停止および排紙に必要な不可欠な部品ですので、必ず貼りつけてください（P.60）。貼りつけないと、ADF が正常に動作しません。また、原稿が詰まったり、折れたりすることがあります。

## それでもズレているときの対処方法

定形紙の取り込みで、ストップと排紙サポートを正しく貼りつけていても、取り込んだ画像が上下にズレている場合は、次の手順で原稿の停止位置を調整してください。



ポイント

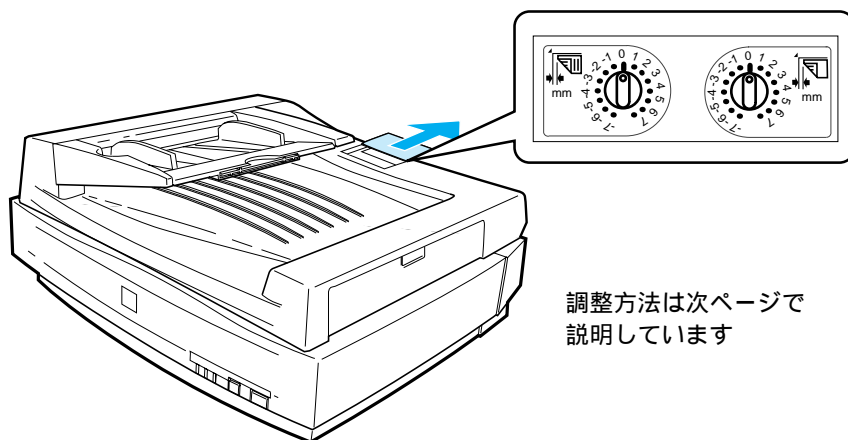
不定形紙の場合は、画像の上下左右ともにズレてしまう場合があります。不定形紙の全範囲を取り込む必要がある場合は、ADFは使わず、原稿台から取り込んでください。

1

ADFに定形紙（A4など）を1枚セットし、取り込みを実行します。  
ここでは2枚以上セットしないでください。

2

取り込んだ画像が上下にズレている場合は、ADFの原稿停止位置調整スイッチで、原稿の停止位置を調整します。



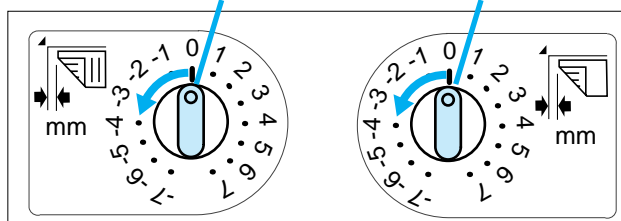
調整方法は次ページで説明しています

### 取り込んだ画像の上側に空白がある場合

この場合は、原稿がガラス面に出過ぎていますので、スイッチをマイナス側に調整します。スイッチを1目盛り調整するごとに、停止位置が1mm変わります。

両面取込時の調整スイッチ

片面取込時の調整スイッチ



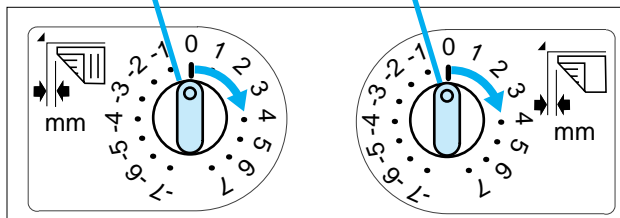
ADF付属のストッパをスキャナ本体に貼りつけていない場合や、ストッパがズれている場合も、画像の上側が切れることがあります。ストッパの状態もあらためて確認してください(60ページ参照)。

### 取り込んだ画像の上側が切れている場合

この場合、原稿がガラス面に完全に出きっていませんので、スイッチをプラス側に調整します。スイッチを1目盛り調整するごとに、停止位置が1mm変わります。

両面取込時の調整スイッチ

片面取込時の調整スイッチ



# Windows95/98 で SCSI ボードが認識されないときは

ここでは、SCSIボードの取り付けとSCSIドライバのインストールを確認します。まず、お使いのSCSIボードがWindows95/98対応品（プラグ & プレイ対応品）かご確認ください。（プラグ & プレイとは、周辺装置やボードなどの自動設定機能のことです）



ポイント

Windows95/98で認識できても、エプソン推奨のSCSIボード以外ではスキャナの動作保証は致しかねます。推奨SCSIボードについては、エプソンFAXインフォメーションの[スキャナ・その他製品関連情報]でご確認ください。FAX番号は裏表紙にあります。

## SCSI ボードがプラグ & プレイに対応している場合

プラグ & プレイに対応しているにもかかわらず、SCSIボードが認識されない場合は、SCSIボードが正しく取り付けられていないことが考えられます。取り付けを確認してください。

SCSIボードが正しく取り付けられていれば、自動的にSCSIドライバがインストールされます。

SCSIボードがPCIバス用でない場合、ボードがプラグ & プレイ対応品でも、コンピュータがプラグ & プレイに対応していない場合があります。コンピュータメーカーにお問い合わせください。

## SCSI ボードがプラグ & プレイに対応していない場合

まず、SCSIボードが正しく取り付けられているか確認してください。そのあと、下記手順でSCSIドライバをインストールします。

- 1 [コントロールパネル]の[ハードウェア](Windows95)または[ハードウェアの追加](Windows98)アイコンをダブルクリックします。
- 2 画面の指示にしたがってSCSIボードを検出します。なお、検出の途中でコンピュータが応答しなくなることがありますので、他のアプリケーションは終了しておいてください。(コンピュータが応答しなくなった場合は、リセットしてください)
- 3 SCSIボードを検出できたら、SCSIドライバをインストールしてください。詳しくは、SCSIボードの取扱説明書をご覧頂くか、またはSCSIボードのメーカーにお問い合わせください。

SCSIボードが検出されない場合は、ボードの取り付けを確認してください。

- 4 インストールが終了したら、[コントロールパネル]の[システム]の[デバイスマネージャ]でSCSIボードの認識を確認してください。詳しくは、10ページをご覧ください。

# お問い合わせいただく前に

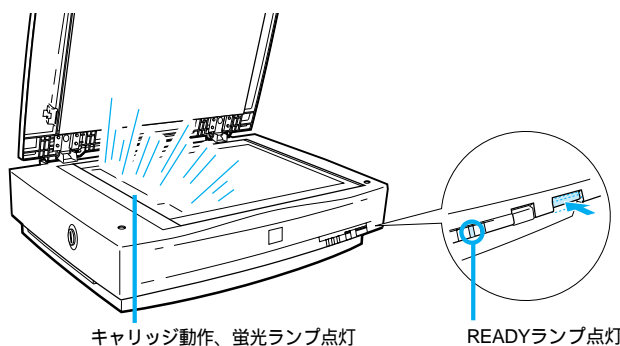
「困ったときは」の内容を確認しても、現在の症状や不明点が解決できない場合は、内容に応じてそれぞれのお問い合わせ先へご連絡ください。

## スキャナ本体のトラブル

判別のしかた

スキャナに電源コードのみ接続し、電源をオンにして動作を確認します。次の動作が確認できれば正常です。

スキャナ内部のキャリッジが少し動いて、蛍光ランプが試験点灯するか  
そのあとで READY ランプが点灯するか



上記の動作が確認できない場合は、お買い求めいただいた販売店、またはお近くのエプソンサービスセンターへご相談ください。

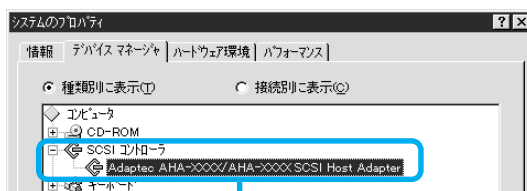
サービスセンターの連絡先は裏表紙にあります。



上記の動作が確認できれば、スキャナ本体のトラブルではありません。もう一度、接続やソフトウェアの取扱方法を確認してください。

## Windows 環境で、SCSI ボード自体が認識されない

< Windows95/98 での例 >



このように認識されない (10 ページ参照)

この場合は、SCSI ボードメーカーにご相談ください。  
なお、エプソン推奨の SCSI ボード以外では動作の保証は致しかねますので  
ご注意ください。

## 付属のソフトウェア (TWAIN 対応ソフト) の使い方が分からない

この場合は、各ソフトウェアの取扱説明書を参照するか、または各ソフトウェア  
メーカーにお問い合わせください。  
ソフトウェアメーカーの連絡先は、別冊「付属のソフトウェアのご案内」に  
あります。

## スキャナが認識されない

エラーが出て EPSON TWAIN Pro を起動できない  
取り込んだ画像がおかしい

この場合は、エプソンインフォメーションセンターにご相談ください。  
インフォメーションセンターの連絡先は裏表紙にあります。

お問い合わせの際は、お使いの環境 (コンピュータの型番、TWAIN 対  
応ソフトの名称やバージョン、その他周辺機器の型番など) と、本機  
の名称をご確認の上、ご連絡ください。



# サポートのご案内

エプソンが行っている各種サービス、サポートは次のとおりです。

## エプソンFAXインフォメーション

エプソン製品に関する最新情報をファックスでお知らせします。  
ファックス付属の電話機(プッシュ回線またはプッシュ音発信可能機種)からおかけください。  
ファックス番号は裏表紙にあります。

## エプソンインフォメーションセンター

エプソン製品に関するご質問やご相談に電話でお答えします。  
電話番号および受付時間については、裏表紙をご覧ください。

## インターネット・パソコン通信サービス

エプソン製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、インターネットおよびパソコン通信による情報の提供を行っています。  
これは次のメリットがあります。

EPSON TWAIN Proをバージョンアップする際は、エプソン販売のホームページおよび、パソコン通信による提供を行う予定です。インターネットおよびパソコン通信からダウンロードすれば、迅速にバージョンアップが行えます。

EPSON TWAIN Proのバージョンアップ時期は未定です。

エプソン販売のホームページには、FAQ(製品に関するQ&A)が掲載されています。トラブルの際にお役に立ちます。

## ホームページのアドレス

エプソン販売 : <http://www.i-love-epson.co.jp>

## パソコン通信名

@niftyパソコン通信サービス : EPSON information Forum  
(コマンド: GO\_FEPSONI)

\_はスペースです

@nifty(アット・ニフティ)会員のうち、旧NIFTY-Serve会員のみ利用可能。

## パソコンスクール

スキャナ、デジタルカメラ、プリンタそしてパソコン。でも分厚い解説本を見たとなん、どうもやる気が失せてしまう。エプソン・デジタル・カレッジでは、そんなあなたに専任のインストラクターがエプソン製品のさまざまな使用方法を楽しく、わかりやすく、効果的にお教えいたします。もちろん目的やレベルに合わせた受講ができるので、趣味にも仕事にもバッチリ活かせる技術が身につきます。ぜひお気軽にご参加ください。お問い合わせは本書裏表紙の一覧表をご覧ください。

## 保守サービスのご案内

故障かな?と思ったときは、慌てずに、まず取扱説明書中の[困ったときは]をよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないかを必ずご確認ください。

### 保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。保証書は、製品の[保証期間]を証明するものです。[お買い上げ年月日][販売店名]に記入もれがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載もれがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。保証書は大切に保管してください。

### 保守サービスの受け付け窓口

保守サービスのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

お買い求めいただいた販売店

エプソンサービス認定店

エプソンサービス認定店は全国に約120店ございます。サービス認定店の詳細は、最寄りのエプソンサービスセンターまでお問い合わせください。

エプソンサービスセンター

電話番号および受付時間については、裏表紙の一覧表をご覧ください。

## 保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の3種類の保守サービスを用意しています。使用頻度や使用目的に合わせてお選びください。

種類	概要	修理代金	
		保証期間内	保証期間外
年間保守契約	出張保守	年間一定の保守料金	
	持込保守	年間一定の保守料金	
出張修理	<ul style="list-style-type: none"> <li>お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所に技術者が出張、現地で修理を行います。</li> <li>故障した製品をお持込できない場合に、ご利用ください。</li> </ul>	機種によっては出張費用がかかります	出張料 + 技術料 + 部品代 修理完了後、そのつどお支払いください
持込/送付修理	<ul style="list-style-type: none"> <li>故障が発生した場合お客様に修理品をお持込または送付いただき、一旦お預かりして修理致します。</li> <li>お持込または送付の際には、必ず巻末の【修理依頼票】を製品に添付してください。</li> <li>【修理依頼票】は修理箇所をすばやく的確に把握し、修理時間を短縮するための貴重な資料となります。</li> </ul>	無償	基本料 + 技術料 + 部品代 修理完了品お届け時にお支払いください
ドアウトドアサービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定の運送会社をご指定の場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。</li> <li>保証期間外の場合はドアウトドアサービス料金とは別に修理代金が必要となります。</li> </ul>	有償(ドアウトドアサービス料金のみ)	有償(ドアウトドアサービス料金+修理代)

- ・ 詳細については、お買い求めの販売店、最寄りのエプソンフィールドセンター/エプソンサービスセンターまたは、エプソン修理センターまでお問い合わせください。
- ・ 一部大型機種につきましては、一般輸送が不可能なものもありますので出張修理をお勧めします。

## 持ち込み修理される方へ

持ち込み修理をされる場合は、巻末の[修理依頼票]をコピーして、必要事項をご記入のうえ必ず製品に添付してください。[修理依頼票]は修理箇所をすばやく的確に把握し、修理時間を短縮するための貴重な資料となります。

# 付録

---

ここでは、次の内容について説明しています。

日常のお手入れ .....	P.86
移動時のご注意 .....	P.87
基本仕様 .....	P.88
用語解説 .....	P.91
索引 .....	P.94

# 日常のお手入れ

スキャナを末永くお使いいただけるように、定期的に次のようなお手入れをしてください。

## 本体およびオプションの清掃

原稿台のガラス面・透過原稿ユニットのガラス面・外装ケースの汚れは、柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた溶液に柔らかい布を浸し、よくしぼって汚れをふきとってから、乾いた布でふいてください。



注意

- ・シンナー、ベンジンなどの揮発性薬品はケースなどの表面を痛めることがありますので、絶対に使わないでください。
- ・スキャナには絶対に水などがかからないように注意してください。

## 蛍光ランプ

蛍光ランプが切れたときは、交換修理が必要です。お買い求めの販売店か、サービスセンターにお問い合わせください。サービスセンターの連絡先は裏表紙にあります。

## 故障のとき

スキャナには、お客様自身で修理、交換できる部品はありません。故障のときや調整が必要なときは、お買い求めの販売店か、サービスセンターにお問い合わせください。サービスセンターの連絡先は裏表紙にあります。

故障かな？と思っても、取扱説明書中の「困ったときは」の内容にしたがって確認すれば、解決できることもあります。「困ったときは」の内容を確認してください。

# 移動時のご注意

スキャナを輸送するときや振動の激しい移動のときは、次のように輸送用固定ノブでキャリッジを固定してください。

1

キャリッジがホームポジションにあることを確かめて、電源をオフにします。

通常は、正しく取り込みが終了すると、キャリッジはホームポジション (P.(10)) に移動します。ホームポジションにない場合は、RESETスイッチを押すことにより、ホームポジションに移動します。READYランプが点灯したら、電源をオフにしてください。

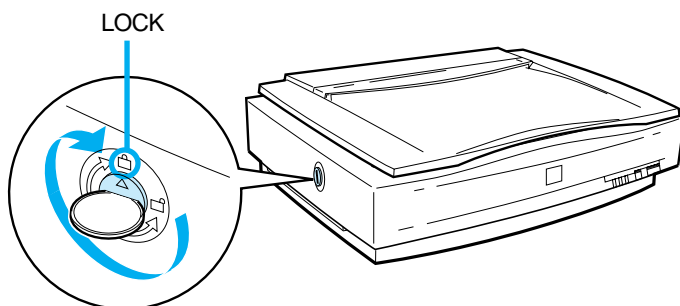
2

電源コードとインターフェイスクーブルをはずします。

3

輸送用固定ノブをLOCKの位置に回し、キャリッジを固定します。

コインなどをお使いください。



注意

輸送時や移動時は、必ず輸送用固定ノブでキャリッジを固定してください。固定しないと、振動や衝撃が加わって故障の原因になることがあります。

4

スキャナを梱包します。

専用の梱包箱と梱包材を使って、開梱したときと同じ状態で梱包してください。正しく梱包しないと、輸送中に振動や衝撃が加わって故障の原因になります。



## ⚠️ 注意

本製品は重いので、移動する場合1人で運ばないでください。必ず2人以上で運んでください。

# 基本仕様

仕様、外観は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

## ハードウェア基本仕様

型式	卓上型カラーイメージスキャナ
外形寸法	幅 656mm × 奥行 458mm × 高さ 170mm
重量	約 20kg
走査方式	ミラー移動型原稿読み取り
画像読み取りセンサ	カラー CCD ラインセンサ (完全片側読み出し方式)
原稿サイズ	反射原稿 : A3 まで 透過原稿 : 最大 290mm × 420mm
最大有効領域	反射原稿 : 最大 310mm × 437mm 透過原稿 : 最大 290mm × 420mm
最大有効画素 センサ解像度	主走査 9760 画素 × 副走査 13760 画素 (800dpi) 主走査 : 800dpi 副走査 : 800dpi
出力解像度 階調	50 ~ 3200dpi まで (1dpi 刻み) 8bit/12bit
色分解方式	カラー CCD 上のフィルタ分解 (R・G・B)
ズーム	50 ~ 200% (1% 刻み)
読み取り時間	(800dpi、高速モード)

用紙サイズ	A4 縦以下	A4 縦 ~ A3 縦
読み取り幅	210mm 以下	210mm ~ 310mm
モノクロ 2 値	約 7.5msec/line	約 10.8msec/line
256 階調グレー	約 7.5msec/line	約 10.8msec/line
24-bit カラー	約 10 msec/line	約 15 msec/line

コマンドレベル	ESC/I - B8
画像処理機能	各画素各色 12 ビット処理
内部演算処理	出力別補正標準 5 種
ガンマ補正*	CRT 用 2 種 (A,B) プリンタ用 3 種 (A,B,C) ユーザ定義補正テーブル設定可能 (1 種)
色補正*	出力別補正 標準補正 4 種 ワイヤドットプリンタ サーマルプリンタ インクジェットプリンタ カラーモニタ (CRT) ユーザ定義補正設定可能 (1 種)
明度補正*	7 レベル

\*ハードウェア側の仕様。TWAIN は対応していません。

画像処理	2 値出力	固定閾値（しきいち）単純 2 値出力 TET 処理 中間調処理出力（2 値、4 値出力*） 平均誤差最小法中間調 3 種 ディザ 4 種 ユーザ定義ディザ 2 種*
フォーカス処理 インターフェイス 光源		領域分離処理（AAS） CCD、レンズ一体型移動方式によるフォーカス機能 SCSI および双方向パラレル 高輝度冷陰極キセノンランプ

\*ハードウェア側の仕様。TWAIN は対応していません。

## 電気的特性

電源電圧	定格 AC100V ( AC100V ± 10% )
電源周波数	50/60Hz ( 49.5 ~ 60.5Hz )
消費電力	約 60W ( オプション非装着時 ) 最大 75W ( オプション装着時 )
絶縁抵抗	DC500V にて 10M 以上 ( AC ラインとシャーシ間 )
絶縁耐圧	AC1200V 1分 ( AC ラインとシャーシ間 )

## 適合規格

耐電磁障害	VCCI クラス B
漏洩電流	0.25mA 以下
電源高調波	高調波抑制対策ガイドライン適合

## 耐電気ノイズ

静電気	パネル部 : 10kV	金属部 : 7kV ( 150PF、150 )
-----	-------------	-------------------------

## 環境条件

温度	動作時 : 5 ~ 35 保存時 : - 25 ~ 60
湿度	動作時 : 10 ~ 80% ( 非結露 ) 保存時 : 10 ~ 85% ( 非結露 )

## 信頼性

本体 MCBF : キャリッジ往復 10万回

## 使用条件

塵埃 一般事務所、一般家庭程度  
異常にほこりの多いところは避けること  
照度 直射日光、光源の近くは避けること

## 原稿条件

反射原稿 写真、印刷物など、表面が滑らかなもの  
・原稿表面に段差がある場合(台紙に写真を貼ったときなど)、読み取った画像の段差部分に色がつくことがある  
・原稿が薄い場合、裏側の画像も裏映りして取り込むことがある  
透過原稿 ネガ、ポジの各フィルムを専用透過原稿ユニットで取り込む

## 英数字

### I I/O ポートアドレス :

コンピュータと周辺装置との間で情報をやりとりするために複数の出入り口があるが、それを区別するためにつける番号のこと。キーボード、マウスなどにはあらかじめ番号が割り当てられているが、双方向パラレルなどのボードを新たに接続する場合は、これらと重複しないように番号を設定する必要がある。ハードウェア間でI/O ポートアドレスが重複すると、正常な動作ができなくなる。

### O OCR :

Optical Character Recognition の略で、光学文字認識の意。印字された文字を読み取り、テキストデータ化すること。汎用のスキャナを用いる場合は、OCRソフトが必要になる。なお、専用の光学文字認識装置の場合は、Optical Character Reader と言う。

### R readme ファイル :

ソフトウェアが納められているCD-ROMなどに保存されている文書ファイルで、使用上の制限など、読んでほしい内容が書かれている。

### S SCSI :

SCSI とは Small Computer System Interface の略で、ハードディスク、スキャナなどの周辺機器をコンピュータに接続するためのインターフェイス規格。複数の SCSI 機器を、最大 7 台まで数珠つなぎ ( デイジーチェーン ) に接続可能。

#### SCSI ID :

SCSI 機器は複数接続 ( デイジーチェーン ) 可能だが、各機器を区別するために設定する番号のこと。機器間で ID 番号が重複すると、正常な動作ができなくなる。

#### ターミネータ ( terminator ) :

終端抵抗。SCSI などの接続において、信号が終端で反射し、戻ってくることを回避するために、終端に取りつけて信号電圧を安定させる電気抵抗のこと。

### T TWAIN :

スキャナを制御するソフトウェアのための、アプリケーションインターフェイス ( API ) の規格。取り込みソフトウェア自体も TWAIN と言う。

付属の EPSON TWAIN Pro は、この TWAIN 規格に対応しているので、各種 TWAIN 対応ソフトから画像を直接取り込むことができる。

120/220 :

中型カメラ（主にプロのカメラマンが使用）に使われる、幅 60mm のロール・フィルム。一般的なフィルムは 35mm。

120/220 フィルムは、中判またはブローニ判（brownie）とも言う。

4 × 5 :

写真館のスタジオなどにある、蛇腹のついた大型カメラに使われるフィルム。通称“シノゴ”。サイズは約 102mm { 4 インチ } × 約 127mm { 5 インチ }。一般的なフィルムは 35mm。

## アイウエオ

キ キャリッジ ( carriage ) :

原稿を照射する蛍光ランプがついており、取り込み時に移動する。取り込み前のキャリッジの待機位置をホームポジションと言う。

ス ストリップフィルム ( strip film ) :

一般の 35mm フィルム ( ネガ / ポジ ) を 6 枚切りにしたフィルムのこと。

スライドフィルム ( Slide film ) :

スライド用に、ポジフィルムを 1 枚ずつ切ってプラスチックなどの枠にはさんだもの。マウントフィルム ( mounted film ) とも言う。

ソ 走査 ( scan ) :

スキャナは、原稿に光を当てて反射光を読み取り、画像などを構成する最小単位の画素に分割し、分解フィルターで色分解を行い、その色の濃淡を電気信号に変換する。この処理を走査と言う。

またスキャナは、横方向にセンサを並べ、それを縦方向に動かすことにより平面な原稿を読み取っていくが、横方向の読み取りを主走査 ( main scan )、縦方向の読み取りを副走査 ( sub scan ) と言う。主走査、副走査を交互に繰り返すことにより、原稿を読み取っていく。

双方向パラレルインターフェイス ( bi-directional parallel interface ) :

パラレルは、データを 8 ビットずつ平行して送信する方式。双方向とは、コンピュータ側からもスキャナ側からも送受信できることを意味する。

④ ターミネータ ( terminator ) :  
SCSI の説明を参照。

⑤ デイジーチェーン ( daisy chain ) :  
SCSI の説明を参照。

ディップスイッチ ( DIP switch ) :

DIP は Dual Inline Package の略。パソコン本体や周辺機器を正常に動作させるために、動作環境の設定を行うスイッチのこと。

⑥ ベース面 ( base side ) :  
フィルムの、光沢のある面。反対側を膜面と言い、こちらに感光剤が塗布されている。(膜面は、乳剤面またはエマルジョン面とも言う)

⑦ 膜面 ( emulsion side ) :  
ベース面の説明を参照。

# 索引

## 英数字

- 120/220 フィルム ..... 49
- 35mm ストリップフィルム ..... 46
- 35mm スライドフィルム ..... 45
- 4 × 5 フィルム ..... 51
- 8 × 10 ..... 53
- A** ADF
  - 原稿のセット ..... 62
  - 取り付け ..... 56
  - 取りはずし ..... 66
  - 詰まったときは ..... 64
- C** CS-5000N ..... 37
- CS-5500N ..... 38
- CSCBN1 ..... 37
- CSCBN2 ..... 37
- CSCBN3 ..... 38
- CSCBN4 ..... 38
- C バス ..... 25,39
- D** DOS/V 機 ..... 25,39
- E** EPSON PC ..... 25,39
- EPSON TWAIN Pro ..... 30
- ERROR ランプ ..... (10),6,72
- ESA3FLU ..... 36
- ESA3ADF ..... 36
- F** FG 端子 ..... (11),26
- G** GTATSPIF2 ..... 25,39
- GTATSCCB1 ..... 9,19,39
- GTATSCCB2 ..... 9,19,20,39
- GTPCSPIF ..... 25,39
- GTSCIFS ..... 8,39
- I** IBM PC/AT 互換機 ..... 25,39
- I/F ケーブル ..... 8,18,26
- I/O ポートアドレス ..... 26
- ISA バス ..... 25,39
- L** LP-8000C ..... 38
- M** Macintosh ..... 19

- N** NEC PC ..... 25,39
- O** OPERATE スイッチ ..... (10),5
- OPERATE ランプ ..... (10),72
- P** Power Macintosh G3 ..... 20
- PM-5000C ..... 37
- R** readme ファイル ..... 11
- READY ランプ ..... (10),6,72,79
- RESET スイッチ ..... (10),6,72
- S** SCSI
  - SCSI ID ..... 12,13,22,23
  - ケーブル ..... 9,19,20,39
  - 接続 ..... 14,24
  - ターミネータ ..... 12,13,22,23
  - ドライバ ..... 8,9,78
  - 認識されないときは ..... 78
  - ボード ..... 8,9,78
- T** TWAIN ..... 30
- W** Windows95 ..... 10,15,78
- Windows98 ..... 10,78
- WindowsNT ..... 11

## アイウエオ

- ア** アジャストピン ..... 43
- 新しいハードウェア ..... 15
- アドレス ..... 26
- イ** 移動 ..... 87
- エ** エラー表示 ..... 72
- オ** 大きさ ..... 2,36
- オートドキュメントフィーダ
  - 原稿のセット ..... 62
  - 取り付け ..... 56
  - 取りはずし ..... 66
  - 詰まったときは ..... 64
- オプション ..... 36
- 重さ ..... 56,61,66
- カ** 外形寸法 ..... 2,36

ガイドピン .....	43	チ 中判 .....	49
解像度 .....	(8),88	ツ 詰まったときは .....	64
紙詰まり .....	64	テ デイジーチェーン .....	8,12,19,22
キ キャビネット .....	37,38	デバイスドライバ .....	15
キャリッジ .....	(10),87	デバイスマネージャ .....	10,78
給紙位置がズレるときは .....	75	電源	
ケ 蛍光ランプ .....	(10),86	接続 .....	5
ケーブル .....	9,19,20,39	投入の順序 .....	18,21
原稿		ト 動作の確認 .....	5
カバー .....	(10),32	透過原稿ユニット	
サイズ .....	31,62	取りつけ .....	40
原稿台 .....	(10),32	透過原稿のセット .....	43
条件 .....	33,90	透過原稿ガイドの	
セット .....	28	角度調整 .....	54
詰まったときは .....	64	トラブル	
停止位置の調整 .....	76	SCSI ボードが	
原点 .....	28,31	認識されない .....	78
コ 故障かな?と思ったら .....	70	エラー .....	72
コネクタ .....	(11)	スキャナ本体 .....	73
困ったときは .....	69	オプション .....	74
コントロールパネル .....	10,78	ニ 日常のお手入れ .....	86
コンピュータとの接続 .....	7	ニュートンリング .....	54
サ サポートのご案内 .....	81	認識 .....	10,15,78
シ 仕様 .....	88	ノ 濃度 255 .....	44
システム .....	10,78	ハ 排紙サポート .....	60
情報ファイル .....	17	ハードウェア .....	78
白基準 .....	44	パラレルインターフェイス	
ス スイッチ .....	(10)	インターフェイスボード ...	25,39
スケール .....	31	接続 .....	26
スケールストップ .....	29	反射原稿 .....	33,55
ストップ .....	60	フ フィルムのセット .....	43
セ センサ解像度 .....	88	プラグ&プレイ .....	15,78
ソ 走査 .....	31	ブローニ判 .....	49
双方向パラレル		ベース面 .....	93
インターフェイスボード ...	25,39	ホ ホームポジション .....	(10),87
接続 .....	26	本体の清掃 .....	86
タ ターミネータ .....	12,13,22,23	マ マウントフィルム .....	45
		膜面 .....	93



# 修理依頼票

機種名	製造番号								
お買上店名	お買上日 年 月 日								
修理品への添付	保証書 ケーブル(種類: ) ( ) ( )								

発生の日時/頻度について、ご記入下さい	
初めて故障した日時	年 月 日
故障が発生する時	電源ON時・使用開始直後・使用開始後 分/時間してから・電源OFF時
故障頻度	使用開始時のみ・いつも・ときどき( 時間/ 日に 回)まれ( 週間に 回)
動作確認での結果について、ご記入下さい	
動作確認結果	良好・異常( )

故障内容について、文字/イラスト等、具体的に記入下さい	

お客様のコンピュータについて、ご記入下さい	
コンピュータ	メーカー名 機種
メモリ	標準 MB + 増設 MB(メーカー 型番 )= 合計 MB
インターフェイス	双方向パラレル・SCSI
接続ケーブル	メーカー名:

故障発生時のソフトウェアをご記入下さい	
OS	Windows 95 ( Ver . )
	Windows 98 ( Ver . )
	WindowsNT ( Ver . )
	MacOS ( Ver . )
	その他 (メーカー . Ver . )
TWAIN	Ver .
アプリケーション	メーカー Ver .
	メーカー Ver .
一日の使用時間/取り込み枚数	時間/ 枚

フリガナ お名前	電話番号 TEL FAX
ご住所 〒 -	お客様IDコード (取得済みの方のみ)

\* 保証期間中の修理依頼については、必ず保証書を添付してください。

## 電波障害自主規制について - 注意 -

この装置は、情報処理装置等電波自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCIルールの限界値を越えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

## 瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。（社団法人 日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

## 漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人 日本電子工業振興協会のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合しております。

## 電源高調波について

この装置は、高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

## 本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんので、ご了承ください。

また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがあります。当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

## 複製上のご注意

以下の行為は、法律により禁止されています。

- ・ 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があっても不可）
- ・ 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- ・ 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、官製はがきなどを複製すること
- ・ 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。

- ・ 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
- ・ パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

著作権について

書籍、絵画、版画、図面、写真などの他人の著作物は、個人的にまたは家庭内その他これに準ずる限られた範囲内において使用することを目的とする以外、著作権者の承認が必要です。

## ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については、万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 運用した結果の影響については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品および、エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合、修理等は有償で行います。